ELP-810/800/600

EPSON

マルチメディア・プロジェクター

MULTIMEDIA PROJECTOR

取扱説明書

ELP-810
ELP-800
ELP-600

取扱説明書

お使いになる前に

保証書別添

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。本製品を、安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。読んだ後は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見れる場所に、保証書とともに大切に保存してください。

MULTI MEDIA

説明書の構成と表示の意味

◆各説明書の使い方

本機の説明書は、次の３冊で構成されています。各説明書の分冊構成は、次のとおりです。

- **取扱説明書（本書）**
  本機を使い始めるまでの準備や基本操作、設定メニューの使い方と、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。
- **安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内**
  本製品を安全にお使いいただくための注意事項やサポートとサービスのご案内、トラブルチェックシートなどが記載されています。
  使い始める前に、必ずご覧ください。
- **クイックリファレンスガイド**
  本機の最も一般的な機能を、すぐに見られるようにまとめてあります。常にプロジェクターのそばに置き、プレゼンテーションを始める前や、途中で操作を確認したくなったときにご覧ください。

◆説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。
その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

⚠警告	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

一般情報に関する表示

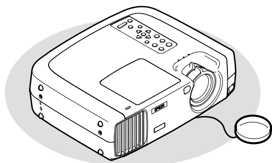
注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を示しています。
ポイント	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
☛	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
▸▸	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。☛ P.96
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
[（ボタン名）]	操作パネルまたはリモコンのボタンを示しています。 例：[Esc]
「（メニュー名）」	設定メニューの項目を示しています。 例：「映像」-「明るさ」

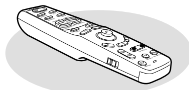
「本機」または「本プロジェクター」という表記について

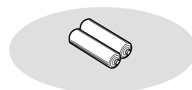
本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに付属品や別売品も含まれる場合があります。

同梱品の確認

下記のチェックリストをご覧になり、同梱品を確認してください。
万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。



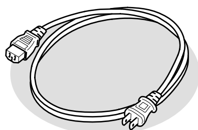


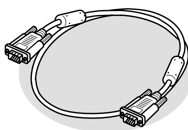


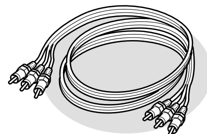
□プロジェクター本体
(ひも付きレンズカバー付属)
ご購入時は、リアフット部にパッキンを取り付けてあります。使用時は取り外してください。

□リモコン

□単３形マンガン乾電池
(2本)
リモコンにセットして使います。



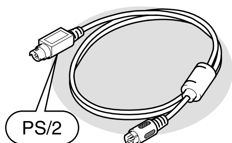


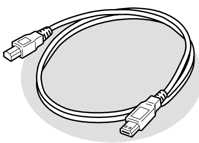


□電源ケーブル
(日本国内用 3m)
本機と電源コンセントを接続します。

□コンピュータケーブル
(ミニ D-Sub15pin/
ミニ D-Sub15pin 1.8m)
本機とコンピュータを接続するときに使います。

□ A/V ケーブル
(赤／白／黄色 1.8m)
本機とビデオ機器を接続するときに使います。



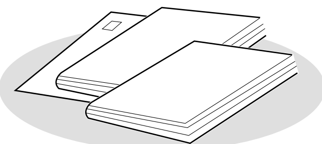


□ PS/2 マウスケーブル
(1.8m)
PS/2 マウス端子のあるコンピュータと接続し、ワイヤレスマウス機能を使う場合に使います。

□ USB ケーブル
(1.8m)
USB 端子のあるコンピュータと接続するときに使います。

ドキュメント類

□安全にお使いいただくために／サポートとサービスのご案内
□取扱説明書（本書）
□クイックリファレンスガイド
□お客様情報＋正式保証書発行カード



本機の特長

タテヨコ台形補正機能

台形にゆがんだ映像を、簡単に補正できます。
垂直(縦)方向だけでなく水平(横)方向のゆがみについても補正できます。
これにより、斜め横から写した映像もきれいに投写できます。
☛ P.46

カラーモード機能

あらかじめ登録されている次の6つの設定から、使用シーンに応じて画質を選択するだけで最適な映像を投写できます。面倒なカラー調整は不要です。☛ P.63,65

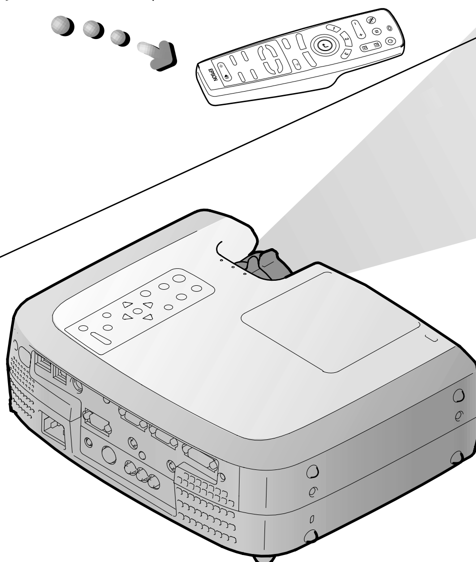
- sRGB
- ノーマル
- ミーティング
- プレゼンテーション
- シアター
- ゲーム

操作が簡単

付属のリモコンを使い、投写映像を停止する(フリーズ☛ P.55)、大切な部分をズームアップする(Eズーム☛ P.57)などの操作ができます。投写中のコンピュータ画面上のポインタ操作や、投写映像を次ページに進めるなどの操作も、リモコンで行えます。(ワイヤレスマウス機能☛ P.26)。
USB接続でワイヤレスマウス機能を使うと、Power Pointの文書をプレゼンするとき、リモコンで次ページ送り、前ページ戻しが行えます。

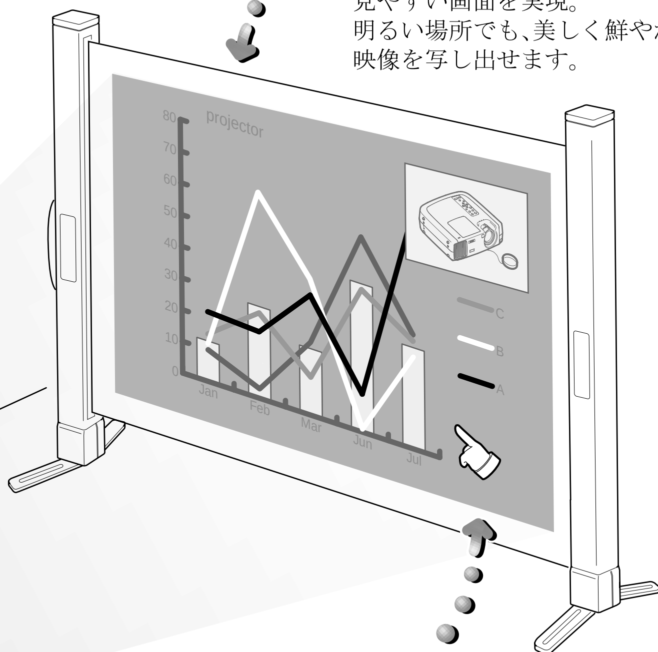
小型で軽量

A4ファイルサイズ
(274(D)×348(W)×104(H)mm)、
軽量(約4.2kg)なコンパクトボディーで、持ち運びも楽々。



美しく鮮明な映像

小型ながら、高解像度、高輝度による
見やすい画面を実現。
明るい場所でも、美しく鮮やかな
映像を写し出せます。



プレゼンテーション支援機能

重要なポイントをポインタで指し示す、スタンプを
配置する、ラインを描画するなどの「エフェクト機能」
により、効果的なプレゼンテーションをサポートします。
☛P.58

ピクチャー イン ピクチャー機能

コンピュータの映像とビデオの映像を１画面で投写できます。
コンピュータ画面に子画面で動きのあるビデオ映像を写し出して、
プレゼンテーションの説得力を高めることができます。
☛P.60

目次

応用編

付　録

使い始めるまでの準備

この章では、開梱後、本機を設置し、使い始めるまでの作業について説明しています。

各部の名称と働き

前面／上面

● ズームリング ☛ P.43
投写映像のサイズを調整します。

● フォーカスリング ☛ P.48
投写映像の焦点を合わせます。

● ランプカバー ☛ P.90
ランプの交換時にこのカバーを開けて、中のランプを交換します。

● ランプカバー開スイッチ ☛ P.90
ランプカバーを取り外すときにこのスイッチをスライドしてロックを外します。

● 盗難防止用ロック（🔒） ☛ P.97

● 排気口

● リモコン受光部 ☛ P.14
リモコン信号を受信します。

● フロントフット ☛ P.44
投写角度を調整するときに伸ばします。

● レンズカバー
プロジェクターを使用しないときに装着し、レンズが傷ついたり汚れたりするのを防ぎます。

● 温度インジケータ ☛ P.78
プロジェクター内部の温度異常などを示します。

● ランプインジケータ ☛ P.78
投写ランプの異常や交換時期などを示します。

● オペレーションインジケータ ☛ P.78
プロジェクターの動作状態を色や点滅･点灯状態で示します。

● 操作パネル ☛ P.9

● ハンドル
本プロジェクターを持ち運ぶ際は、このハンドルを持って移動します。

● フットボタン ☛ P.44
このボタンを押したままプロジェクターを持ち上げ、フロントフットの引き出し、微調整、収納を行います。

本体操作パネル

● **[電源] ボタン** ☛ P.39
電源を ON/OFF するときに押します。

● **[コンピュータ / 色差▸▸] ボタン** ☛ P.40
押すたびに Computer1 端子と Computer2/ Component Video 端子の入力ソースを切り替えます。

● **[メニュー] ボタン** ☛ P.73
押すたびにメニューを表示 / 終了します。

● **[垂直台形補正]ボタン** ☛ P.46
投写画面が垂直 (縦) 方向に台形にゆがんだときに押します。
［シフト］ボタンを押したまま、このボタンを押すと、コンピュータの映像の同期を調整できます。

● **[シフト] ボタン** ☛ P.49,50
このボタンは単体では機能しません。
このボタンを押したまま各 [台形補正] ボタンを押すとオレンジ色で表記されている機能 (同期・トラッキング) が働きます。

● **[A/V ミュート] ボタン** ☛ P.54
映像と音声を一時的に消します。

● **[ヘルプ] ボタン** ☛ P.76
トラブルが起こったときの対処方法を表示するときに押します。

● **[ビデオ] ボタン** ☛ P.40
押すたびに Video 端子と S-Video 端子の入力ソースを切り替えます。

● **[Esc] ボタン** ☛ P.74
実行中の機能を終了するときに押します。メニューやヘルプを表示中は 1 つ上の階層に戻ります。

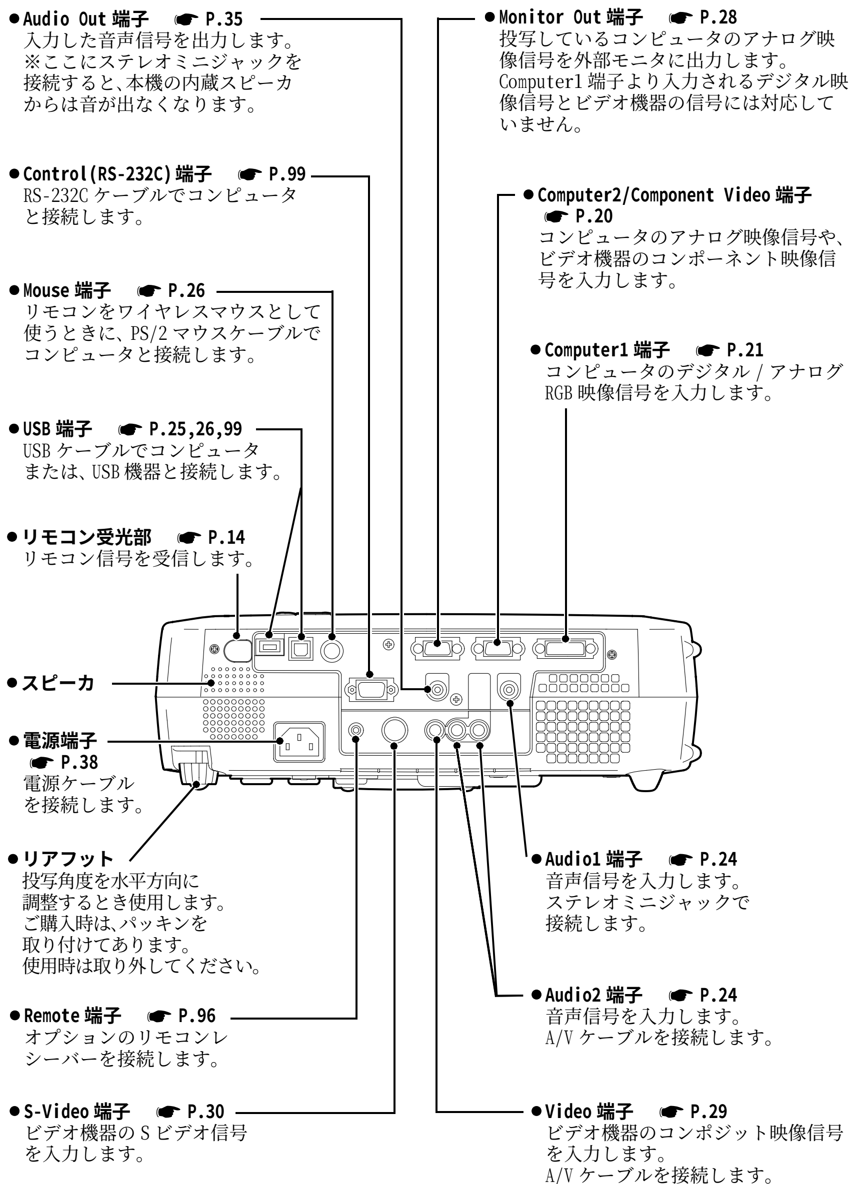
● **[水平台形補正] ボタン** ☛ P.46
投写画面が水平 (横) 方向に台形にゆがんだときに押します。
［シフト］ボタンを押したまま、このボタンを押すと、コンピュータの映像のトラッキングを調整できます。

● **[自動同期] ボタン** ☛ P.48
コンピュータ映像を自動調整し、最適化します。
設定メニューやヘルプが表示されているときは、↵ として働きます。メニュー項目などを選択し、次に進むときに押します。

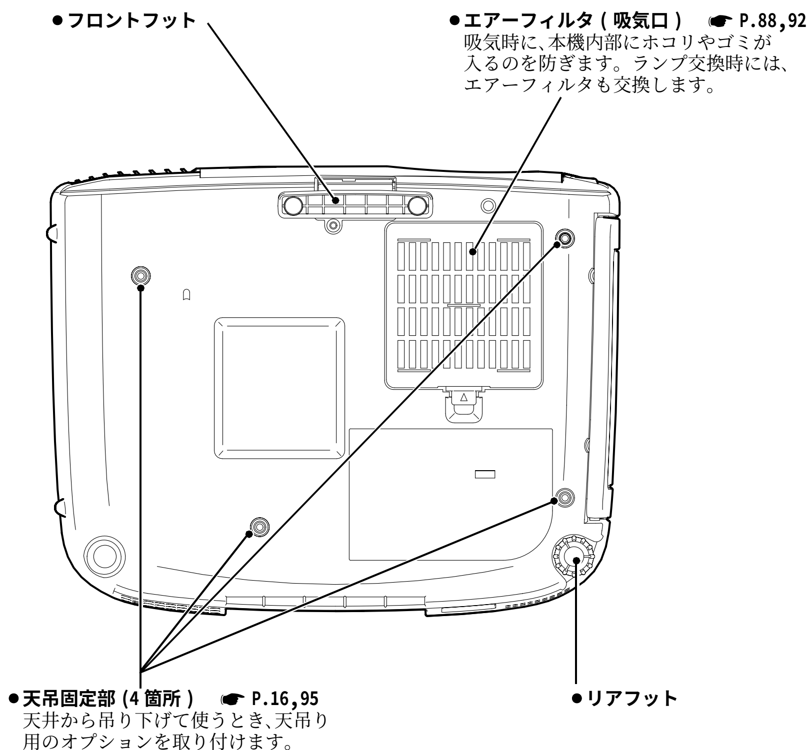
● **[リサイズ] ボタン** ☛ P.43,56
投写サイズを切り替えます。

● **[音量] ボタン** ☛ P.51
音量を調節します。

背面


●Audio Out 端子 ☛ P.35
入力した音声信号を出力します。
※ここにステレオミニジャックを接続すると、本機の内蔵スピーカからは音が出なくなります。
●Control(RS-232C)端子 ☛ P.99
RS-232C ケーブルでコンピュータと接続します。
●Mouse 端子 ☛ P.26
リモコンをワイヤレスマウスとして使うときに、PS/2 マウスケーブルでコンピュータと接続します。
●USB 端子 ☛ P.25,26,99
USB ケーブルでコンピュータまたは、USB 機器と接続します。
●リモコン受光部 ☛ P.14
リモコン信号を受信します。
●スピーカ
●電源端子 ☛ P.38
電源ケーブルを接続します。
●リアフット
投写角度を水平方向に調整するとき使用します。
ご購入時は、パッキンを取り付けてあります。
使用時は取り外してください。
●Remote 端子 ☛ P.96
オプションのリモコンレシーバーを接続します。
●S-Video 端子 ☛ P.30
ビデオ機器の S ビデオ信号を入力します。
●Monitor Out 端子 ☛ P.28
投写しているコンピュータのアナログ映像信号を外部モニタに出力します。
Computer1 端子より入力されるデジタル映像信号とビデオ機器の信号には対応していません。
●Computer2/Component Video 端子 ☛ P.20
コンピュータのアナログ映像信号や、ビデオ機器のコンポーネント映像信号を入力します。
●Computer1 端子 ☛ P.21
コンピュータのデジタル / アナログ RGB 映像信号を入力します。
●Audio1 端子 ☛ P.24
音声信号を入力します。
ステレオミニジャックで接続します。
●Audio2 端子 ☛ P.24
音声信号を入力します。
A/V ケーブルを接続します。
●Video 端子 ☛ P.29
ビデオ機器のコンポジット映像信号を入力します。
A/V ケーブルを接続します。

底面


●フロントフット
●エアーフィルタ（吸気口） ☛ P.88,92
吸気時に、本機内部にホコリやゴミが
入るのを防ぎます。ランプ交換時には、
エアーフィルタも交換します。
●天吊固定部（4箇所） ☛ P.16,95
天井から吊り下げて使うとき、天吊り
用のオプションを取り付けます。
●リアフット

リモコン

● **リモコン発光部** ☛ **P.14**
リモコン信号を出力します。

● **インジケータ**
リモコン信号を出力しているときに発光します。

● **[Freeze] ボタン** ☛ **P.55**
映像を一時停止します。

● **[A/V Mute] ボタン** ☛ **P.54**
映像と音声を一時的に消します。

● **[E-Zoom] ボタン** ☛ **P.57**
投写サイズは変えずに、映像を拡大 / 縮小します。

● **エフェクトボタン** ☛ **P.58**
次のように、装飾 (エフェクト) 機能が割り当てられています。
[1]：ポインタ / スタンプ
[2]：スポットライト
[3]：バー

● **[Left] ボタン** ☛ **P.26**
ワイヤレスマウスとして使用するときに、マウスの左クリックとして機能します。

● **[Menu] ボタン** ☛ **P.73**
メニューを表示 / 終了します。

● **[Auto] ボタン** ☛ **P.48**
コンピュータ映像を自動調整し、最適化します。

● **[P in P] ボタン** ☛ **P.60**
ピクチャー イン ピクチャー機能を実行します。

● **[Volume] ボタン** ☛ **P.51**
音量を調節します。

● **[Power] ボタン** ☛ **P.39**
プロジェクターの電源を ON/OFF します。

● **[↑]/[↓] ボタン** ☛ **P.26**
プロジェクターとコンピュータが USB 接続されている場合、USB キーボードの [↑][↓] キーと同様に動作します。

● **R/C スイッチ** ☛ **P.14**
リモコンの電源を ON/OFF します。

● **↵ ボタン (Enter)** ☛ **P.27,73**
ボタンを傾けると、傾けた方向にポインタが移動します。メニュー表示中に押した場合は、メニューの項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。

● **[Right]/[Esc] ボタン** ☛ **P.27,74**
実行中の機能を終了します。メニューやヘルプ表示時には1つ上の階層に戻ります。ワイヤレスマウスとして使用するときは、マウスの右クリックとして機能します。

● **[Help] ボタン** ☛ **P.76**
トラブルが起こったときの対処方法を表示します。

● **[Source] ボタン** ☛ **P.40**
[Comp1]：Computer1 端子からの映像に切り替えます。
[Comp2/YCbCr]：Computer2/Component video 端子からの映像に切り替えます。
[S-Video]：S-Video 端子からの映像に切り替えます。
[Video]：Video 端子からの映像に切り替えます。

● **[Resize] ボタン** ☛ **P.43,56**
投写サイズを切り替えます。

● **[Preset] ボタン** ☛ **P.63**
あらかじめ登録してあるコンピュータ映像の解像度を選択します。

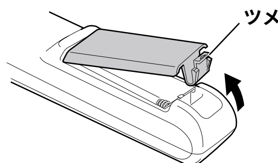
リモコンをお使いになる前に

電池のセット

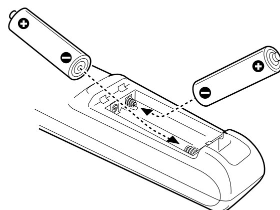
購入直後は、リモコンに電池はセットされていません。まず、添付の乾電池をセットします。
電池を取り扱う際は、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みになり、電池取り扱い上の注意を確認してから行ってください。

操作

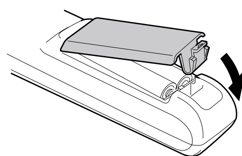
1 **電池カバーをはずします。**
電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。



2 **電池をセットします。**
電池ホルダ内の(+)(−)の表示を確認し、電池の向きを間違えないようにセットします。



3 **電池カバーを取り付けます。**
カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



電池の交換時期

リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなった場合は、電池の寿命が考えられます。電池を新しいものと交換してください。

電池交換時期の目安：1日30分使用した場合で約6ヶ月

※ただし、この期間は使用状態や使用環境により変化します。

交換用の電池は、次のものをご用意ください。
単3形マンガン乾電池×2本

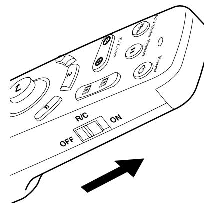
リモコンの使い方と操作範囲

使い方

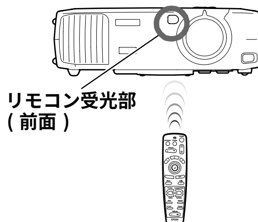
リモコンの使い方は次のとおりです。

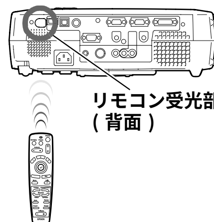
操作

1 **リモコンの R/C スイッチを ON にします。**



2 **リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作します。**







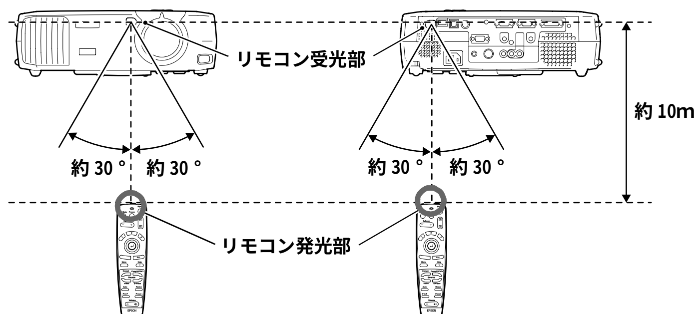
- **プロジェクターのリモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。リモコンからの信号を受信できないことがあります。**
- **使い終ったら、リモコンのR/CスイッチをOFFにします。ONのままだと電池が消耗します。**

操作範囲

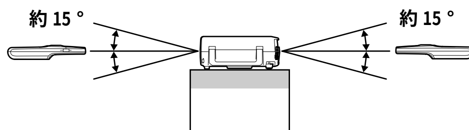
リモコンで操作する場合は、次の範囲でお使いください。受光部との距離や角度が操作可能範囲を外れると、リモコン操作できません。

操作可能距離	操作可能範囲
約 10m	左右約 30 ° 上下約 15 °

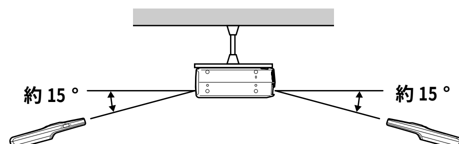
左右約 30 °



上下約 15 °



天吊りの場合





離れた位置から、確実にリモコンで操作したい場合は、オプションの「リモコンレシーバー」をお使いください。
☛ 「付録 オプション品一覧」P.95

リモコン取り扱い上の注意

故障や誤動作、破損の原因となりますので、次の注意事項を必ず守ってください。

- **リモコンを落としたり、強い衝撃を与えないでください。**
- **リモコンに水などの液体をかけないでください。**
  万一、濡れた場合はすぐに乾いた布で拭き取ってください。
- **長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。**
  乾電池が液漏れを起こすことがあります。
- **リモコンでしか操作できない機能もあります。なくさないようにプロジェクター本体と一緒に保管してください。**

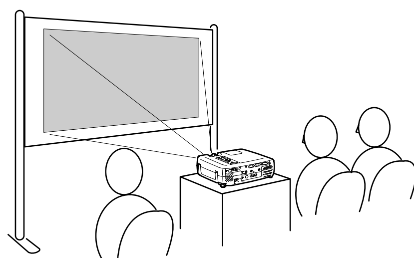
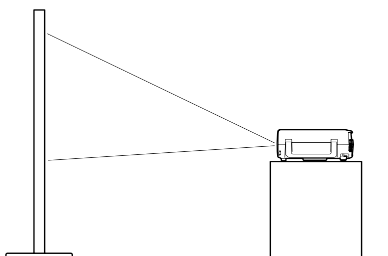
本機の設置

設置方法

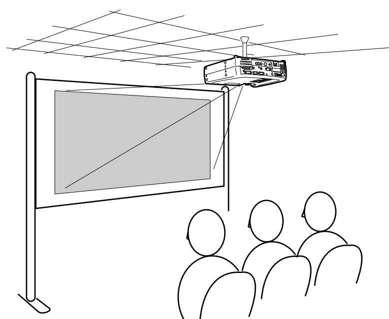
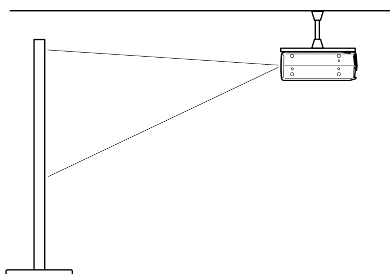
本機の投写方法は、次の4種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

設置にあたっては、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みになり、設置上の注意を確認してから行ってください。

- **正面から投写する**

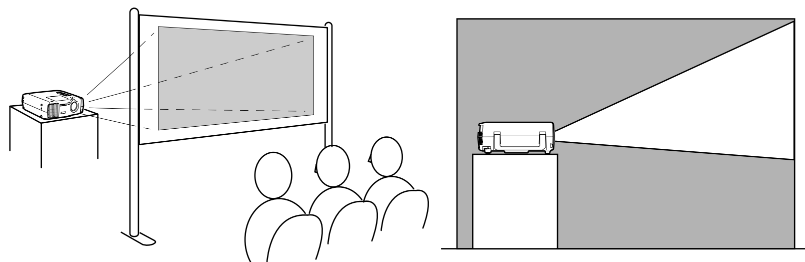



- **天吊りして正面から投写する**

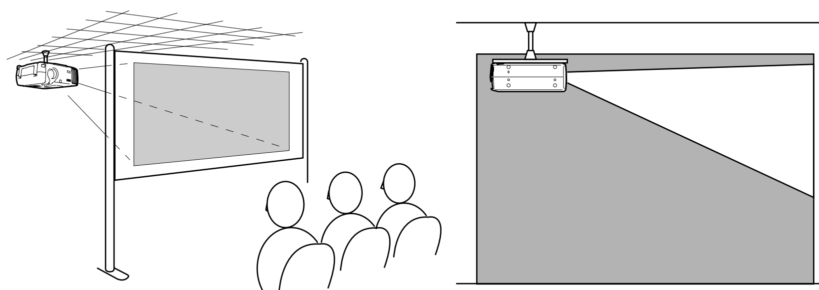



※天吊り用の取り付けは特別な技術が必要です。天吊りで使用する場合は販売店にご相談ください。

- **半透過性のスクリーンへ裏側から投写する**



- **天吊りして半透過性のスクリーンへ裏側から投写する**



※天吊り用の取り付けは特別な技術が必要です。天吊りで使用する場合は販売店にご相談ください。

スクリーンサイズと投写距離

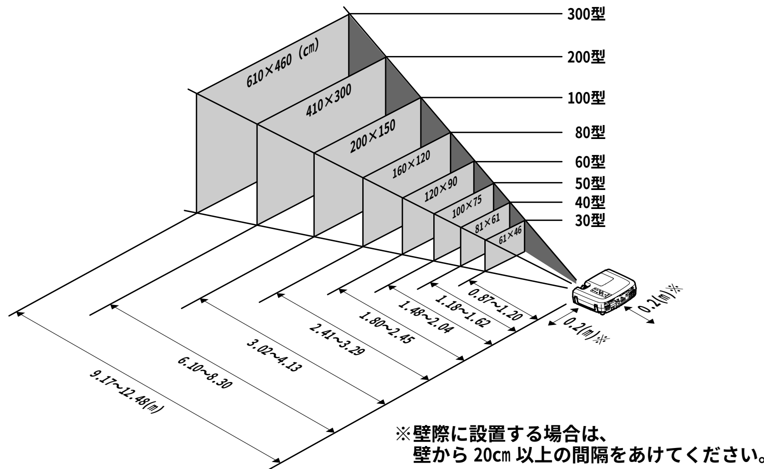
本プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離により投写画面サイズが異なります。

推奨距離範囲	0.87m ～ 12.48m

下表を参考にして、画面サイズがスクリーンより小さくなるように設置してください。

スクリーンサイズ (cm)	おおよその投写距離※ (m)
30 型 (61 × 46)	0.87 ～ 1.20
40 型 (81 × 61)	1.18 ～ 1.62
50 型 (100 × 75)	1.48 ～ 2.04
60 型 (120 × 90)	1.80 ～ 2.45
80 型 (160 × 120)	2.41 ～ 3.29
100 型 (200 × 150)	3.02 ～ 4.13
200 型 (410 × 300)	6.10 ～ 8.30
300 型 (610 × 460)	9.17 ～ 12.48

※距離の値は設置の目安にしてください。投写条件により、変わる場合があります。





- **本機のレンズは約 1.35 倍ズームです。最大拡大時は、最小時の約 1.35 倍のサイズで投写できます。**
- **台形補正をすると、画面サイズは小さくなります。**

コンピュータとの接続



コンピュータを接続する際は、次の点を確認してください。
- **接続する前にプロジェクターとコンピュータの電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。**
- **ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。**

接続できるコンピュータ

コンピュータによっては接続できないものや、接続できても投写できないものがあります。以下の、接続できるコンピュータの条件と照らし合わせて確認してください。

- **条件 1：接続するコンピュータに映像信号の出力端子があること**
  コンピュータに「 RGB 端子」「モニタ端子」「ビデオ端子」などの映像信号を出力させる端子があることを確認してください。確認できない場合は、コンピュータの取扱説明書の「外付けのモニタを接続する」などの項目で確認してください。
  コンピュータとモニタが一体型のタイプやノートパソコンなどの場合は、接続できなかったり外部出力端子を別途購入する必要があるものがあります。詳しくは、コンピュータの取扱説明書をご覧ください。

- **条件2：接続するコンピュータの解像度と周波数が「対応解像度一覧」の範囲内であること**
  コンピュータから出力される映像信号の解像度と周波数が「付録　対応解像度一覧」(☛ P.100) に記載されていない場合は投写できません。
  コンピュータの取扱説明書で映像信号の解像度と周波数および設定方法を確認してください。



コンピュータによっては出力解像度を変更できますので、対応解像度一覧の範囲内の設定に変更してください。
☛「付録　対応解像度一覧」P.100

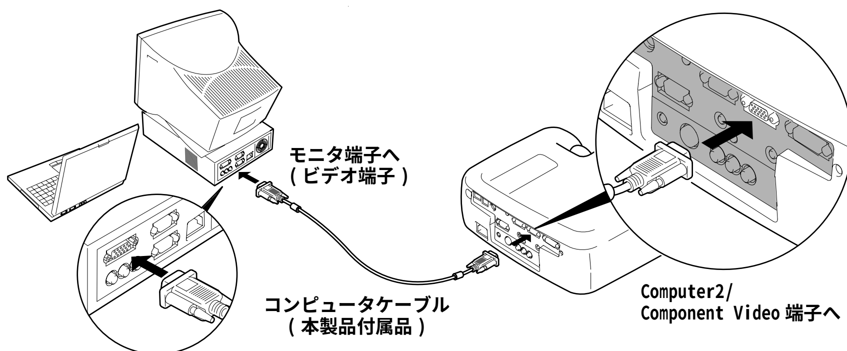
コンピュータの映像を写す

コンピュータのモニタ端子の形状や規格により、本機側の接続端子や使用するケーブルが異なります。お使いになるコンピュータに合わせて、以降の内容をお読みください。

モニタ端子がミニ D-Sub 15pin 端子の場合

コンピュータのモニタ端子と、本機背面の Computer2/Component Video 端子を同梱のコンピュータケーブルで接続します。
アナログ RGB 出力のコンピュータを本機に２台接続する場合は、本機背面の Computer1 端子と２台目のコンピュータのモニタ端子をオプションの DVI アナログケーブルで接続します。☛「付録 オプション品一覧」P.95

Computer2/Component Video 端子に接続する場合

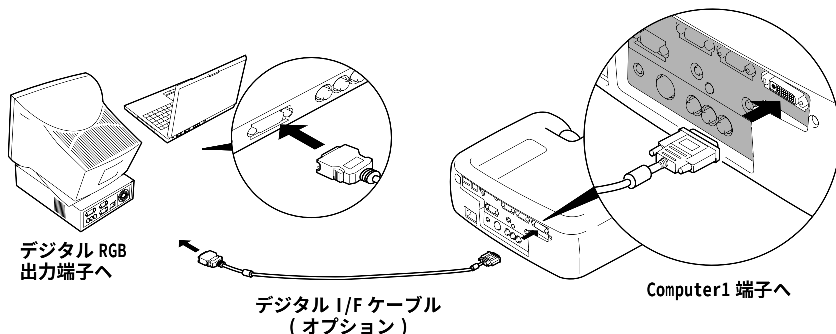




- **本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、接続後、メニューの「設定」-「Comp2/YCbCr入力」、あるいは「Comp1入力」で「Analog-RGB」に設定します。** **☛ P.69**
- **電源ケーブルとコンピュータケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。**
- **コンピュータの端子形状によっては、接続の際に市販のアダプタ類などが必要になることがあります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。**
- **Macintoshと接続するには、市販のアダプタが必要な場合があります。**
- **コンピュータと本機が離れて設置されており、付属品のケーブルでは届かないときや、UXGA の解像度でコンピュータの映像を投写したいときは、オプションのコンピュータケーブルをお使いください。**
  ☛「付録 オプション品一覧」P.95

モニタ端子がデジタル RGB 端子の場合

コンピュータに DVI▶▶、または DFP▶▶規格準拠のデジタルビデオカードやビデオ出力端子が搭載されている場合は、コンピュータのモニタ端子と本機背面のComputer1 端子を、オプションのデジタル I/F ケーブルで接続します。
接続するケーブルは、コンピュータのモニタ端子の規格により異なります。
☛「付録 オプション品一覧」P.95

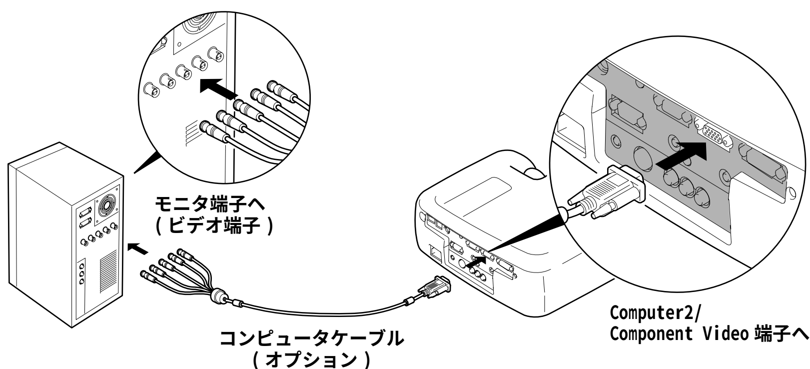




- コンピュータの出力をデジタルRGBに切り替えるには、コンピュータ側の設定が必要な場合があります。詳しくは、コンピュータに添付の取扱説明書をご覧ください。
- 同時に、ミニ D-Sub 15pin 出力端子のコンピュータを接続する場合は、Computer2/Component Video 端子にミニ D-Sub 15pin 出力端子のコンピュータを接続します。
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、接続後、メニューの「設定」-「Comp1 入力」で「Digital-RGB」に設定します。
☛ P.69

モニタ端子が 5BNC▶▶端子の場合

コンピュータのモニタ端子と、本機背面の Computer2/Component Video 端子をオプションのコンピュータケーブルで接続します。☛「付録 オプション品一覧」P.95

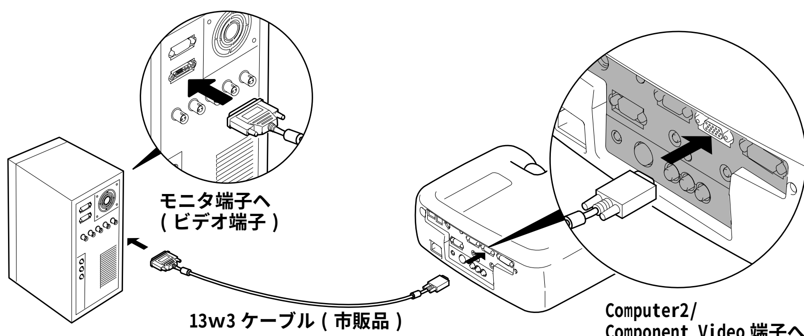




- **本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、接続後、メニューの「設定」-「Comp2/YCbCr 入力」で「Analog-RGB」に設定します。** **☛ P.69**
- **電源ケーブルとコンピュータケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。**

モニタ端子が 13w3 端子の場合

ワークステーション対応のコンピュータでは、モニタ端子が13w3端子の場合があります。
コンピュータのモニタ端子と本機背面の Computer2/Component Video 端子を市販の 13w3 ⇔ D-Sub15 ケーブルで接続します。



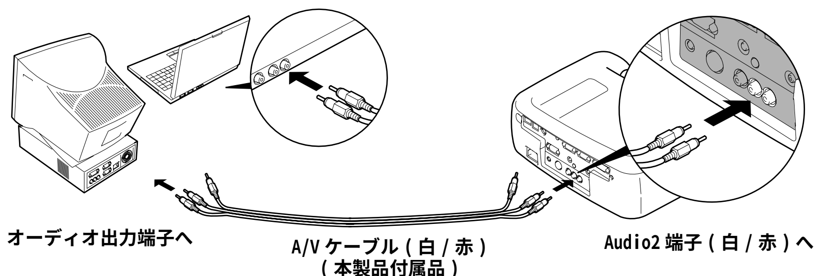


- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、接続後、メニューの「設定」-「Comp2/YCbCr入力」で「Analog-RGB」に設定します。 ☛ P.69
- 電源ケーブルとコンピュータケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。
- ワークステーションによっては、専用ケーブルが必要な場合があります。詳しくは、お使いのワークステーションのメーカーに確認してください。

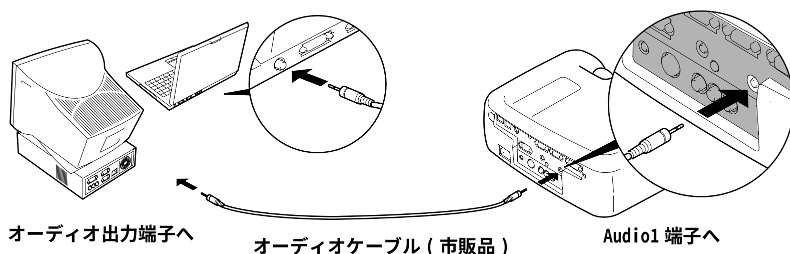
コンピュータの音声を出す

本機には、最大 5W のスピーカが 1 個内蔵されています。音声出力端子を持つコンピュータの音声を本機の内蔵スピーカから出力させるには、次の3通りの方法で接続できます。コンピュータのオーディオ出力端子の形状やお手持ちのケーブルによって使い分けます。

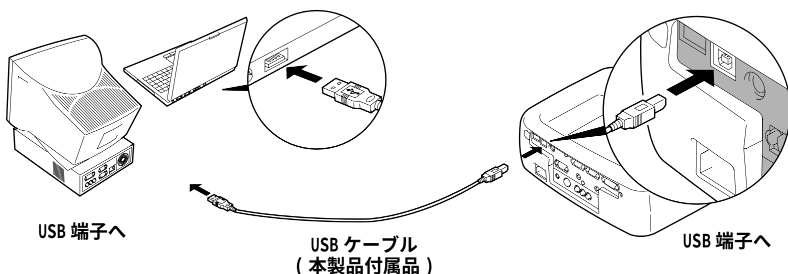
- コンピュータのオーディオ出力端子と本機背面のAudio 2端子(RCAジャック)を、同梱の A/V ケーブル (赤 / 白) で接続します。



- コンピュータのオーディオ出力端子と本機背面のAudio 1端子 (ステレオミニジャック) を、市販のオーディオケーブルで接続します。オーディオケーブルは 3.5φ ステレオミニピンケーブルのものを推奨します。



- 音声を USB▶▶ に出力できるコンピュータの場合、コンピュータの USB 端子と本機背面の USB 端子を、同梱の USB ケーブルで接続します。





- **接続後は、メニューの「音声」-「音声入力」で、「Audio1/Audio2/USB」から入力する端子を選択します。** ☛ P.66
- **本機に外部スピーカを接続して音声を出力することもできます。** ☛ P.35
- **USB ケーブルでの接続は、USB 標準搭載モデルにのみ対応しています。Windows の場合は、Windows98/2000/Me プリインストールモデルだけに対応しています。アップグレードした Windows98/2000/Me 環境下では動作を保証いたしません。**
  Macintosh の場合は、OS9.0 〜 9.1 に対応しています。
  Windows/Macintosh ともに OS のバージョンにより USB オーディオ機能を使用できない場合があります。
- **USB経由でコンピュータの音声を出す場合は、コンピュータ側で設定を切り替える必要があります。詳しくはコンピュータに添付の取扱説明書をご覧ください。**

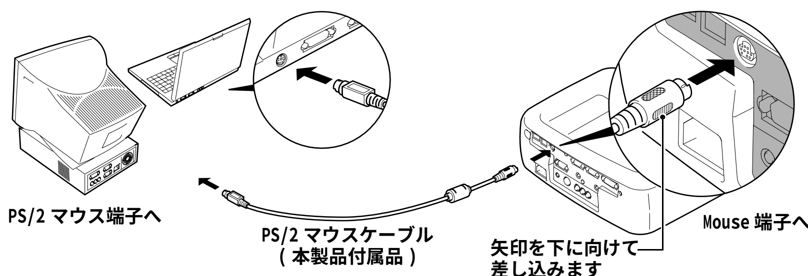
リモコンでマウスポインタを操作する

コンピュータのマウス端子と本機背面の Mouse 端子または USB▸▸端子をマウスケーブルで接続すると、ワイヤレスマウスのように、コンピュータのマウスポインタを、リモコンで操作できます。

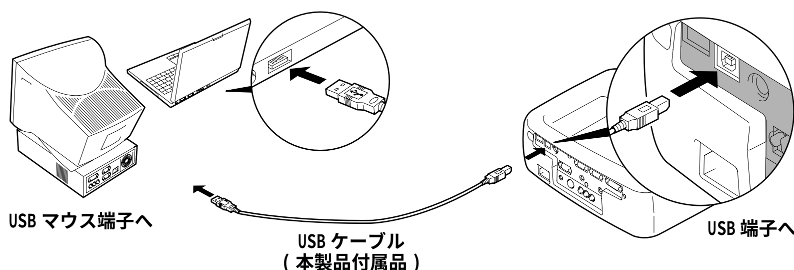
コンピュータ	使用しているマウスの種類	使用するケーブル
Windows	PS/2 マウス	PS/2 マウスケーブル (同梱品)
	USB マウス	USB ケーブル (同梱品)
Macintosh (OS 8.6 ～ 9.1)	USB マウス	USB ケーブル (同梱品)

PS/2 マウスの接続例

プロジェクターとコンピュータの電源を切った状態で接続してください。電源が入った状態で接続すると、誤動作や故障の原因となります。



USB マウスの接続例



※ USB 接続した場合は、リモコンの [↑][↓] ボタンが機能するようになります。PowerPoint ファイルを投写中、このボタンでページ送り / 戻しをすることができます。



- **USB ケーブルでの接続は、USB標準搭載モデルにのみ対応しています。Windows の場合は、Windows98/2000/Me プリインストールモデルだけに対応しています。アップグレードした Windows98/2000/Me 環境下では動作を保証いたしません。**
  Macintosh の場合は、OS8.6 〜 9.1 に対応しています。
  Windows/Macintosh ともに OS のバージョンによりワイヤレスマウス機能を使用できない場合があります。
- **マウスを使用するために、コンピュータ側の設定が必要な場合があります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。**
- **PS/2 マウスと USB マウスを同時に使うことはできません。**

接続した後はマウスポインタを次のように操作できます。

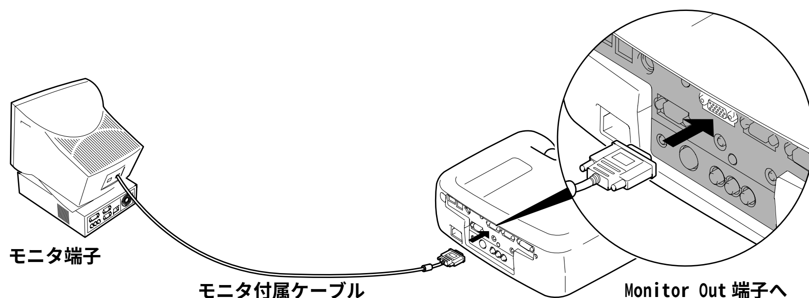
マウスポインタの移動	左クリック	右クリック
リモコンの ↵ ボタンを傾けると、傾けた方向にマウスポインタが移動します。 ↵ ボタンは 16 方向に傾けることができます。	[Left] ボタンを押します。	[Right/Esc] ボタンを押します。



- **コンピュータでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンでの操作も逆になります。**
- **以下の機能を使用しているときは、リモコンでワイヤレスマウス機能を行えません。**
  ・メニュー表示中　・エフェクト　・P in P の子画面決定前
  ・E ズーム　・映像サイズをリアル表示（ リサイズ OFF）にしたとき
  ウィンドウ表示になる場合（SXGA 以上の解像度のとき）

外部モニタとの接続

本機の投写映像をコンピュータのモニタで、同時に表示させることができます。本機背面の Monitor Out 端子と、コンピュータのモニタを、モニタに付属のケーブルで接続します。





- Macintosh と接続するときは、オプションの MAC アダプタセットが必要になる場合があります。 ☛「付録 オプション品一覧」P.95
- Computer1 端子より入力されるデジタル RGB 信号は、外部モニタに出力させることはできません。
- ビデオ映像は外部モニタに出力させることはできません。

ビデオ機器との接続

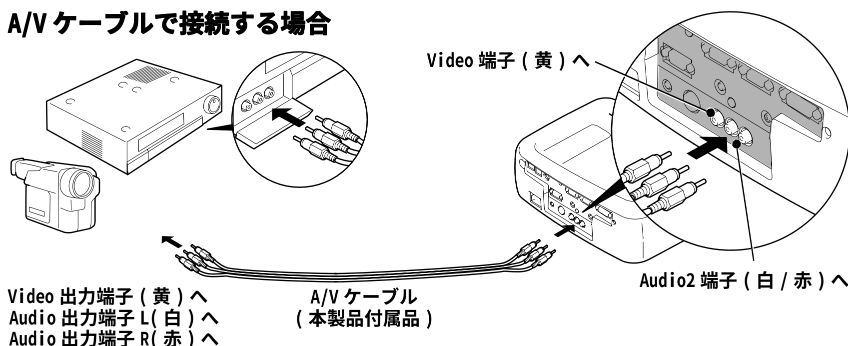


ビデオ機器を接続する際は、次の点に注意してください。
- **接続する前にプロジェクターとビデオ機器の電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。**
- **ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。**

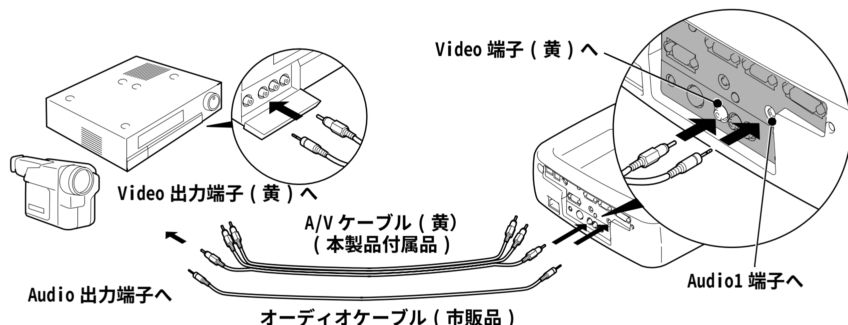
コンポジット映像を写す

- ビデオ機器と、本機背面の Video 端子および Audio2 端子を同梱の A/V ケーブル (赤 / 白 / 黄) で接続します。
- ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状がステレオミニジャックの場合は、ビデオ機器と本機背面のAudio1端子を市販のオーディオケーブルで接続します。

A/V ケーブルで接続する場合



ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状がステレオミニジャックの場合



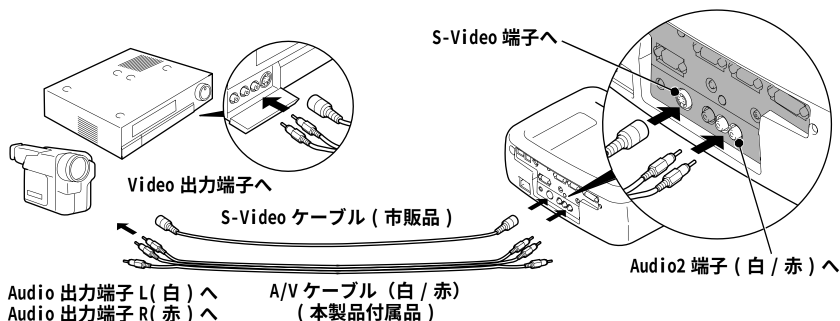


接続後は、メニューの「音声」-「音声入力」で、「Audio1/Audio2/USB」から入力する端子を選択します。初期値は「Audio2」に設定されています。

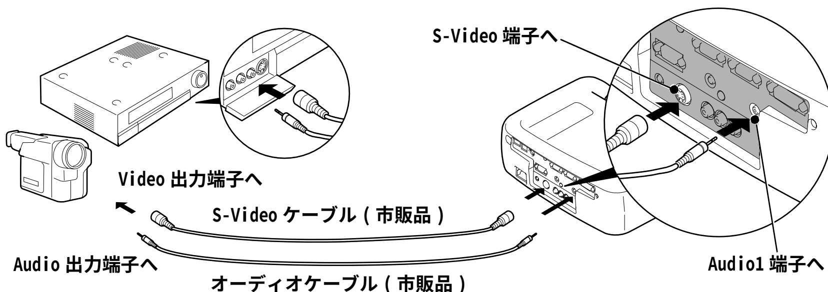
S ビデオ映像を写す

- ビデオ機器と本機背面のS-Video端子をS-Videoケーブル(市販品)で接続します。
- 音声を本機の内蔵スピーカから出力する場合は、ビデオ機器と本機背面のAudio2端子を同梱のA/Vケーブル(赤/白)で接続します。または、Audio1端子を市販のオーディオケーブルで接続します。ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状やお手持のケーブルによりどちらに接続するか選びます。

音声出力を A/V ケーブルで接続する場合



ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状がステレオミニジャックの場合



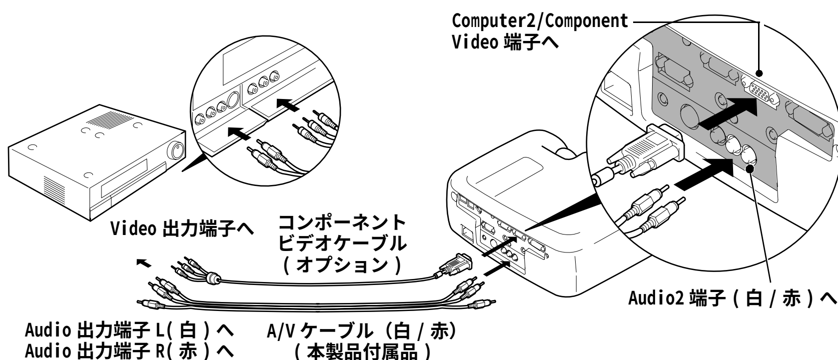


接続後は、メニューの「音声」-「音声入力」で、「Audio1/Audio2/USB」から入力する端子を選択します。初期値は「Audio2」に設定されています。

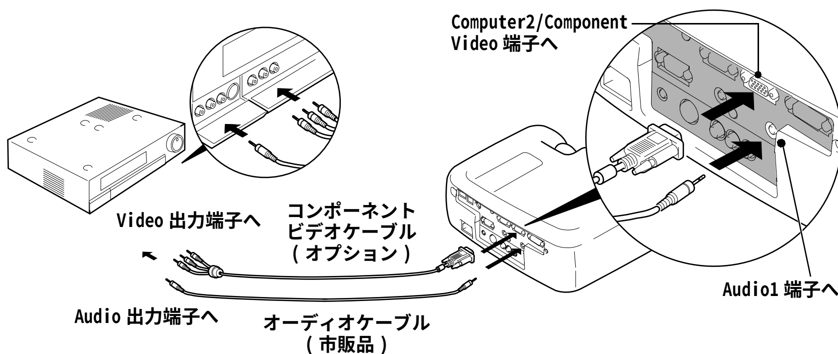
コンポーネント映像を写す

- ビデオ機器と本機背面の Computer2/Component Video 端子をオプションのコンポーネントビデオケーブルで接続します。☛「付録 オプション品一覧」P.95
- 音声を本機の内蔵スピーカから出力する場合は、ビデオ機器と本機背面の Audio2 端子を同梱の A/V ケーブル (赤 / 白) で接続します。または、Audio1 端子を市販のオーディオケーブルで接続します。ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状やお手持ちのケーブルによりどちらに接続するか選びます。

音声出力を A/V ケーブルで接続する場合



ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状がステレオミニジャックの場合





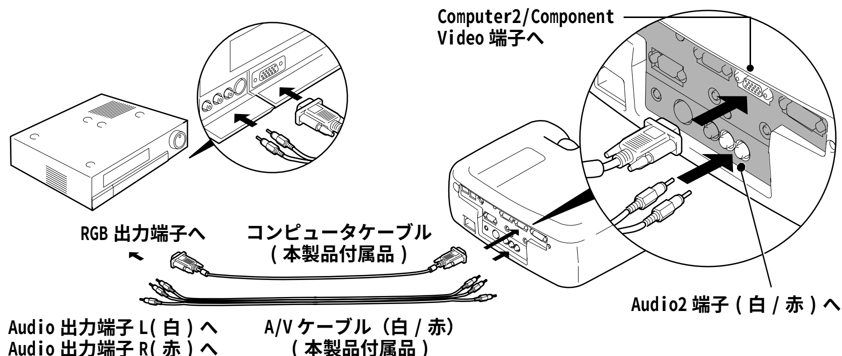
- **本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、接続後メニューの「設定」-「Comp2/YCbCr入力」で、機器の信号に合わせて「YCbCr」または「YPbPr」に設定します。 ☛P.69**
  HDTV(750P,1125i) の場合は、設定にかかわりなく YPbPr になります。
- **接続後は、メニューの「音声」-「音声入力」で、「Audio1/Audio2/USB」から入力する端子を選択します。**

RGB ビデオ映像を写す

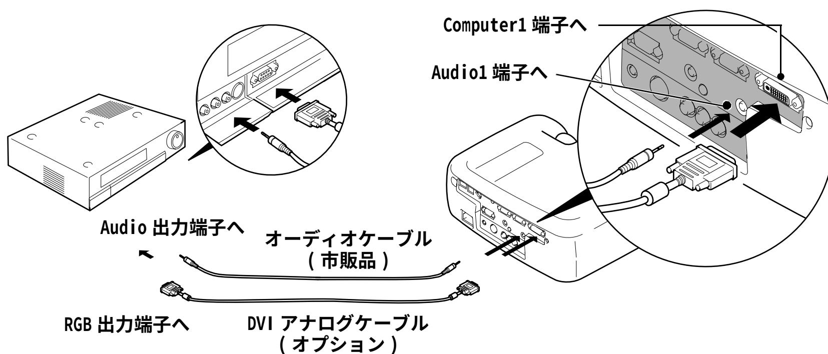
RGBビデオは、コピーガードがかかっているRGB信号を入力して、映像を投写する場合に使用します。

- ビデオ機器と本機背面のComputer2/Component Video端子を同梱のコンピュータケーブルで接続します。あるいはComputer1端子をオプションのDVIアナログケーブルで接続します。☛「付録 オプション品一覧」P.95
- 音声を本機の内蔵スピーカから出力する場合は、ビデオ機器と本機背面のAudio2端子を同梱のA/Vケーブル(赤/白)で接続します。または、Audio1端子を市販のオーディオケーブルで接続します。ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状やお手持のケーブルによりどちらに接続するか選びます。

音声出力を A/V ケーブルで接続する場合



ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状がステレオミニジャックの場合



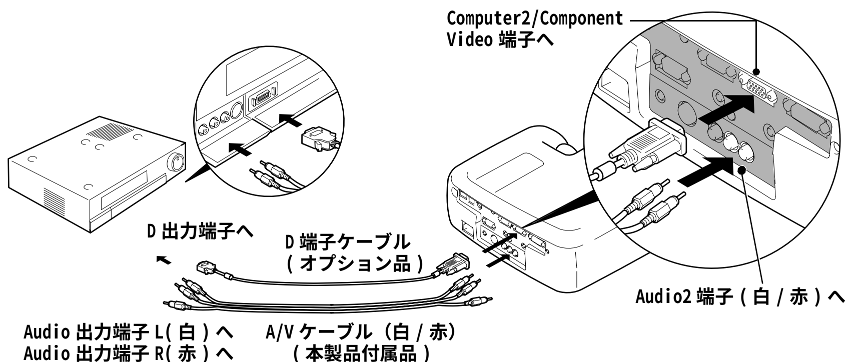


- RGBビデオは、シンク･オン･グリーンにだけ対応しています。この状態はメニューの「情報」-「同期モード」で確認できます。
- 接続後は、メニューの「設定」-「Comp1入力」または「Comp2/YCbCr入力」で「RGB-Video」に設定します。
  セパレートシンク（H シンク・V シンクが別にある ）の場合は、設定を「Analog-RGB」にします。 ☛ P.69 この状態はメニューの「情報」-「同期モード」で確認できます。
- 接続後は、メニューの「音声」-「音声入力」で、「Audio1/Audio2/USB」から入力する端子を選択します。初期値は「Audio2」に設定されています。

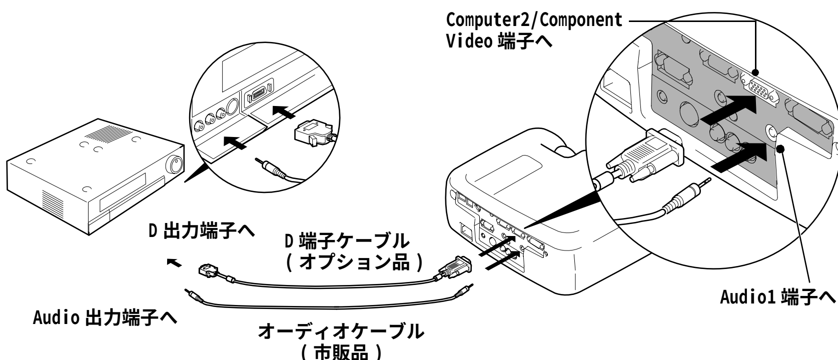
BS デジタルチューナの映像を写す

- BS デジタルチューナと本機背面の Computer2/Component Video 端子をオプションの D 端子ケーブルで接続します。☛「付録 オプション品一覧」P.95
- 音声を本機の内蔵スピーカから出力する場合は、ビデオ機器と本機背面の Audio2 端子を同梱の A/V ケーブル (赤 / 白) で接続します。または、Audio1 端子を市販のオーディオケーブルで接続します。ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状やお手持のケーブルによりどちらに接続するか選びます。

音声出力を A/V ケーブルで接続する場合



ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状がステレオミニジャックの場合

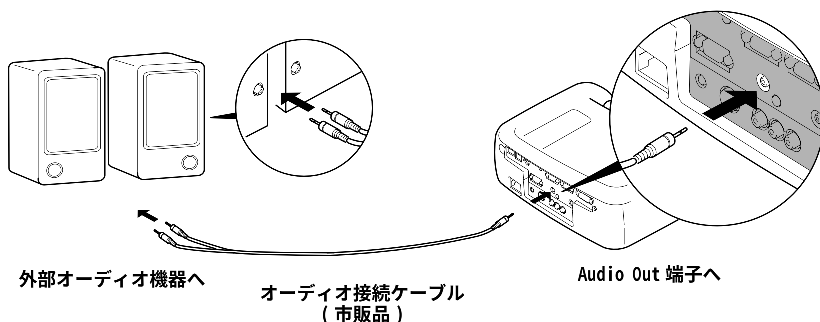




- 接続後は、メニューの「設定」-「Comp2/YCbCr 入力」で「YPbPr」に設定します。☛ P.69
- BS デジタルチューナへの接続は、日本国内でのみ可能です。
- D4 規格までの BS デジタルチューナに対応しています。
- 接続後は、メニューの「音声」-「音声入力」で、「Audio1/Audio2/USB」から入力する端子を選択します。

外部スピーカから音声を出す

本機の Audio Out 端子と、外付けのアンプ内蔵スピーカを接続すると、迫力あるサウンドが楽しめます。
市販のオーディオ接続ケーブル(ピンプラグ)⇔3.5mm(ステレオミニジャック)などを使用します。
オーディオ接続ケーブルは、外部オーディオ機器の接続部の形状に合わせて購入してください。





Audio Out端子へステレオミニジャックを差し込むと、音声は外部へ出力されます。このとき、本機の内蔵スピーカから音声は出力されません。

基本操作編

ここでは、投写開始と終了、投写映像の調整など基本的な機能について説明しています。

電源を入れ投写しよう

電源を入れ、投写を行います。

投写にあたっては、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みになり、投写上の注意を確認してから行ってください。

電源ケーブルを接続しよう

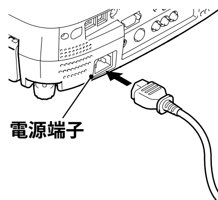
操作

1 **本機と本機に接続するすべての機器の電源が切ってあることを確認します。**

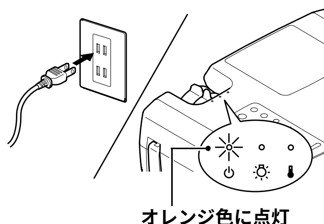
2 **本機とコンピュータあるいはビデオ機器を接続します。** ☛ P.19,29

3 **レンズカバーを外します。**
レンズカバー上部に指をかけて取り外します。

4 **本機に、同梱の電源ケーブルを取り付けます。**
本機の電源端子と、電源コネクタの形状を確認し、向きを合わせてしっかりと奥まで差し込みます。



5 **電源プラグをコンセントに差し込みます。**
オペレーションインジケータがオレンジ色に点灯します。





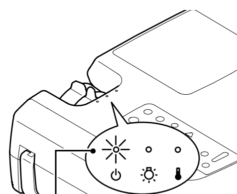
オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅しているときは、ボタン操作は無効となります。点灯に変わるまでお待ちください。

電源 ON 、投写開始

操作

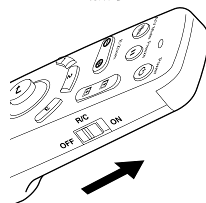
1 **本機に接続されている機器の電源を入れます。**
ビデオ機器の場合は、さらにビデオ機器の [再生] や [プレイ] ボタンを押します。

2 **オペレーションインジケータがオレンジ色に点灯したのを確認します。**

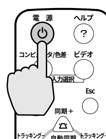


オペレーションインジケータがオレンジに点灯

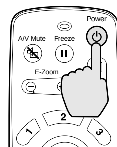
3 **リモコンを使用する場合は、リモコンの R/C スイッチを ON にします。**



4 **本体の [電源] ボタンまたはリモコンの [Power] ボタンを押し電源を入れます。**
オペレーションインジケータが緑の点滅に変わり、しばらくすると投写が始まります。



本体



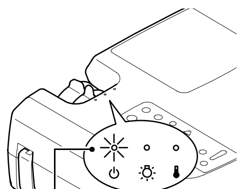
リモコン

設定によっては、「映像信号が入力されていません。」と表示されます。☛ P.69

5 **オペレーションインジケータが緑の点滅から点灯に変わるのを確認します。**

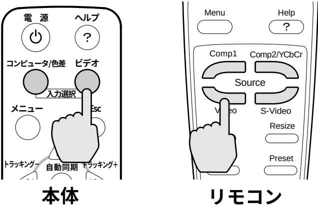


オペレーションインジケータが緑に点滅しているときは、ボタン操作は無効です。点灯に変わるまでお待ちください。



オペレーションインジケータが緑の点滅から点灯に変わります。

6 **複数の機器を接続している場合は、下表を参照し、本体またはリモコンのボタンで目的の機器が接続されている端子を選択します。**



接続端子	選択するボタン 本体	選択するボタン リモコン	画面左下の表示
Computer1	[コンピュータ / 色差]	[Comp1]	Computer1(Digital-RGB) Computer1(Analog-RGB) Computer1(RGB-Video)
Computer2/ Component Video	[コンピュータ / 色差]	[Comp2/YCbCr]	Computer2(Analog-RGB) Computer2(RGB-Video) Computer2(YCbCr) Computer2(YPbPr)
S-Video	[ビデオ]	[S-Video]	S-Video
Video	[ビデオ]	[Video]	Video


ポイント

- 接続機器が一台だけの場合は、ボタンを押さなくても投写されます。
- 「映像信号が入力されていません。」と表示されたままの場合は、接続をもう一度確認してください。
- ノートタイプや液晶一体型のコンピュータを接続したときには、映像が投写されないことがあります。接続後にコンピュータの信号を外部に出力させる設定を行ってください。
  下表は、出力切り替えの一例です。詳しくはコンピュータの取扱説明書の「外部出力のしかた」「外部モニタへの出力」などの項をご覧ください。

NEC 製	Panasonic 製	東芝製	IBM 製	SONY 製	富士通	Macintosh
[Fn]+[F3]	[Fn]+[F3]	[Fn]+[F5]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F10]	再起動した後、コントロールパネルの調整でミラーリングの設定にする。

- 同一の静止映像を長時間投写していると、投写映像に残像が残ることがありますので、静止映像は長時間投写しないでください。

電源を切り終了しよう

投写を終了するには、次の手順で行います。

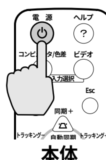
操作

1 **本機に接続している機器の電源を OFF にします。**
すべての接続機器の電源が切れていることを確認します。

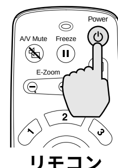
2 **本体の [電源] ボタンまたはリモコンの [Power] ボタンを押します。**
次のパワーOFF 確認のメッセージが表示されます。

電源を切りますか？

電源を切る場合はもう一度
Power キーを押してください。



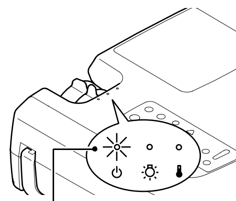
本体



リモコン

電源を切りたくないときは、他のボタンを押します。
何も操作しないと、7 秒後に自動的にメッセージが消えます (電源は切れません)。

3 **もう一度 [電源] ボタンまたは [Power] ボタンを押します。**
ランプが消灯し、オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅し、クールダウン▶▶が始まります。

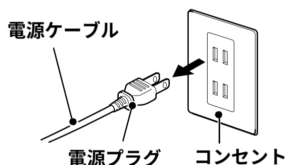

オペレーションインジケータがオレンジの点滅から点灯に変わります。

4 **クールダウンが終了したことを確認します。**
クールダウンが終了すると、オペレーションインジケータがオレンジ色の点灯に変わります。
クールダウンの時間は約 2 分です (外気温などによって変わります)。



オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅しているときは、ボタン操作は無効になります。点灯に変わるまでお待ちください。

5 電源ケーブルのプラグをコンセントから抜きます。



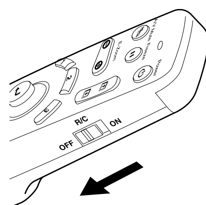


オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因になったり、ランプの交換時期が早くなります。

6 リモコンの R/C スイッチを OFF にします。

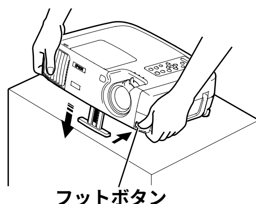


リモコンの R/C スイッチが ON のままになっていると電池が消耗します。使用しないときは R/C スイッチを OFF にしてください。



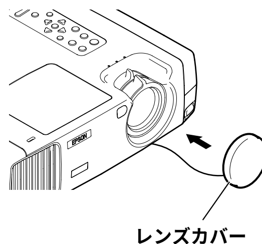
7 フロントフットが出ているときは収納します。

フットボタンを押したままゆっくり本体を下に降ろします。



8 レンズカバーを取り付けます。

レンズにホコリや汚れが付着するのを防ぐために、使用しないときはレンズカバーを取り付けます。



投写画面の調整

投写画面の補正や各種調整を行い、最適な投写状態にします。

投写サイズの調整

基本的に投写サイズは、スクリーンから本機の設置位置までの距離で合わせます。☛P.18
ここでは、その後に行う調整の方法を説明します。

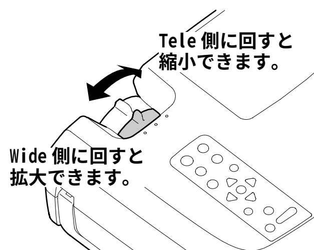


一部分を拡大するEズーム機能もあります。 **☛P.57**

操作

本体のズームリングを回して調整します。
1.35倍まで拡大できます。

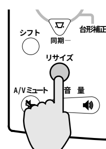
さらに拡大したいときは、投写距離で調整します。☛P.18



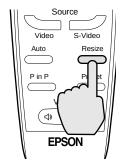


コンピュータの場合は、本体の［リサイズ］ボタンまたはリモコンの[Resize]ボタンでリアル表示/リサイズ表示を切り替えることができます。

- **リサイズ表示(初期状態):**
  どの解像度のときも投写サイズいっぱいになるよう自動処理して投写します。
- **リアル表示(ウィンドウ表示):**
  入力解像度のまま投写します。
  解像度によっては投写サイズと映像サイズが異なる場合があります。



本体

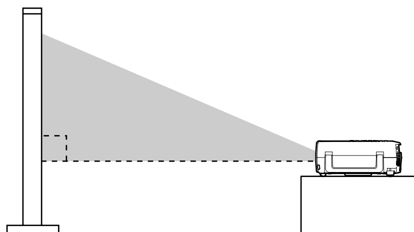


リモコン

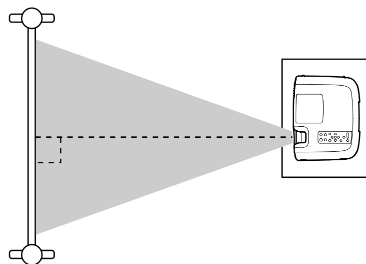
投写角度の調整

プロジェクターの投写角度を調整します。できるだけスクリーンと直角になるように設置してください。

横から見たとき



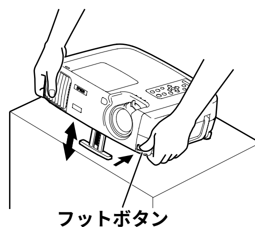
上から見たとき



フロントフットの伸縮を調節することで、最大傾斜角度12 °までの範囲で投写角度を調整できます。

操作

フットボタンを押したまま本機前面を持ち上げると、フロントフットが伸びます。
投写したい角度になるまでフロントフットを伸ばし、フットボタンを離します。



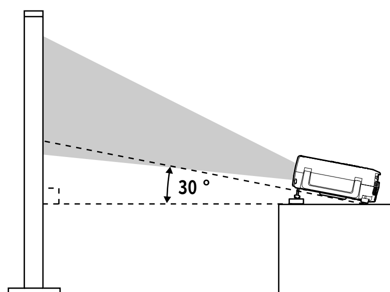


- **フット調整をすると、画面が台形にゆがむことがあります。台形ゆがみは台形補正で調整できます。** **☛ P.46**
- **フロントフットを収納するには、フットボタンを押したまま、本機をゆっくり降ろしてください。**
- **本機が水平方向に傾いているときは、リアフットを回して調整します。**

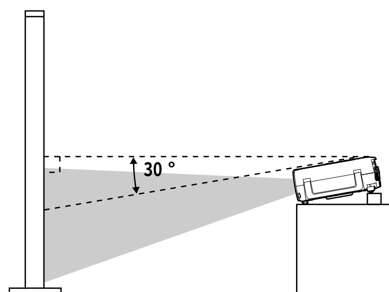
本機をスクリーンに対して直角に設置できない場合､傾斜角度が､上下方向に約30°､左右方向に約 10°までの範囲内であれば､次ページの台形補正で調整できます。
ここで記載した値は､ズームを最も Tele(最小) 側に設定した場合の値です。傾斜角度の最大値はズームを Wide 側に調整するほど小さくなります。さらに､上下左右とも傾けた場合は､それぞれの最大傾斜角度は単独で傾けたときよりも小さくなります。

- **上下方向**

上方向に約 30 °

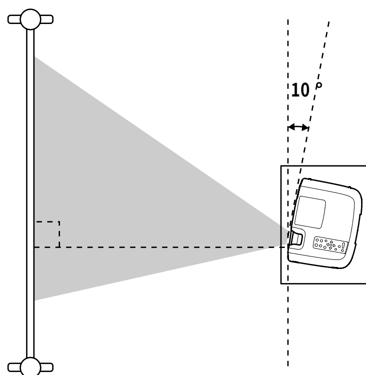


下方向に約 30 °

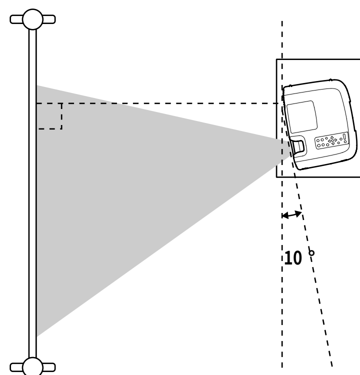


- **左右方向**

右方向に約 10 °



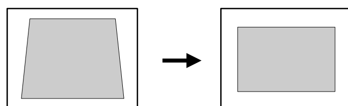
左方向に約 10 °

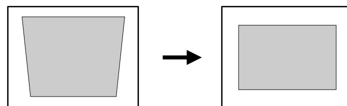


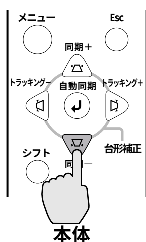
台形にゆがむ場合の補正

設置条件によっては、スクリーンに対して本機を直角に設置できないことがあります。その場合は、画面が台形にゆがむことがあります。画面が台形にゆがんだ場合は、本機の操作パネルにある [台形補正] ボタンを押して調整します。

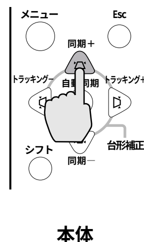
- **垂直 (縦) 方向への補正**





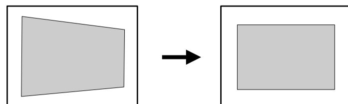


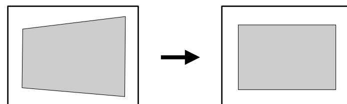
本体

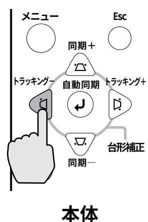


本体

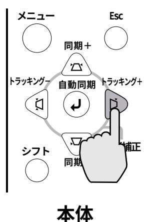
- **水平 (横) 方向への補正**







本体



本体



- 台形補正をすると画面が小さくなります。
- 水平 / 垂直の台形補正を組み合わせて使うときの手順
  1. 本機のフロントフットを収納している状態で、本機を水平に設置します。
  2. 必要に応じてフロントフットで角度を付けます。
  3. 画面の縦の辺が垂直になるように垂直方向の台形補正を行います。
  4. 画面の横の辺が水平になるように水平方向の台形補正を行います。
- 台形補正の状態は記憶されます。投写位置や角度を変えたときは、設置状態に合うように再調整してください。
  以前行った台形補正を初期の状態に戻すには、次の操作で行います。
  垂直方向の台形補正の初期化：[同期＋] ボタンを押したまま、[同期－] ボタンを 1 秒以上押す。
  水平方向の台形補正の初期化：[トラッキング＋] ボタンを押したまま、[トラッキング－] ボタンを 1 秒以上押す。
- 台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。 ☛ P.63
- 台形補正はメニューでも調整できます。 ☛ P.68
- 水平・垂直の台形補正を組み合わせて使うと、それぞれ単独で調整する場合よりも、補正量が少なくなります。
- 水平 (垂直) の台形補正を行っているときに、画面に表示されるゲージの値が変化しなくなったら、水平 (垂直) の台形補正量の限界を超えたことを示しています。本機を制限以上に傾けて設置していないか確認してください。
- 水平(垂直)の台形補正と、Eズーム、エフェクト、P in Pのいずれかの機能を併用する場合、台形補正量が限界に近い状態でEズームやエフェクト、P in P を行おうとすると、メッセージが表示され、E ズーム、エフェクト、P in Pが行えないことがあります。この場合は、台形補正量が少なくなるように再調整してください。
- 入力している映像信号により、台形補正量の限界値が異なります。

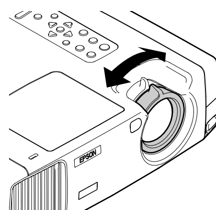
画質の調整

映像を調整します。

ピントを合わせる

操作

フォーカスリングを回して調整します。
本体のフォーカスリングを回してピントを合わせます。





- **レンズが汚れているときや結露して曇っているときはピントが合いません。汚れや曇りを取り除いてください。** ☛ P.87
- **設置距離が0.87〜12.48mからはずれると、ピントが合いません。設置距離を確認してください。**

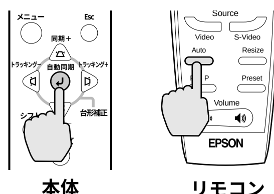
コンピュータ映像の調整

自動調整

コンピュータの映像を最適な状態に調整します。
自動調整されるのは、トラッキング▸▸、表示位置、同期（Sync.）▸▸の3項目です。

操作

コンピュータの映像を投写中に、本体の［自動同期］ボタンまたはリモコンの［Auto］ボタンを押します。
機能実行中、画面は黒色表示になります。

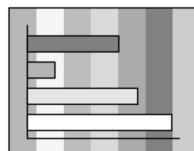




- **メニュー、ヘルプ表示中は、本体操作パネルの[自動同期]ボタンを押しても無効となります。リモコンの[Auto]ボタンを押すか、メニュー、ヘルプを終了させてから[自動同期]ボタンを押します。**
- **E ズームや A/V ミュート、ピクチャー イン ピクチャーを実行しているときに、リモコンから自動調整を行うと、実行している機能を解除してから調整します。本体の [自動同期] ボタンを押した場合は、E ズーム・ピクチャー イン ピクチャー実行時は自動調整できません。**
- **コンピュータが出力している信号によっては、うまく調整できない場合があります。そのような場合は、それぞれトラッキングと同期を手動で調整してください。**

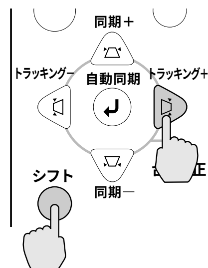
トラッキングの調整

自動調整を行っても、コンピュータの映像に縦の縞模様が出て調整しきれない場合は、次のように個別にトラッキングの調整を行います。



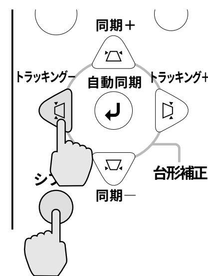
操作

本体の [シフト] ボタンを押したまま
[トラッキング+] ボタンを押します。
ボタンを押すたびにトラッキングの値が1段階アップします。



本体操作パネル

本体の [シフト] ボタンを押したまま
[トラッキング−] ボタンを押します。
ボタンを押すたびにトラッキングの値が1段階ダウンします。



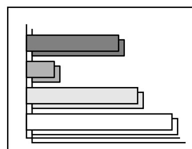
本体操作パネル



連続してトラッキングを調整すると、投写映像が点滅しますが、故障ではありません。

同期の調整

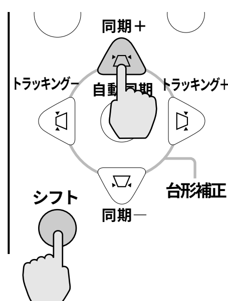
自動調整を行っても、コンピュータの映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出て調整しきれない場合は、次のように個別に同期調整を行います。



操作

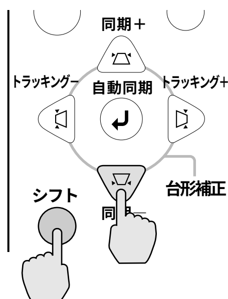
本体の［ シフト ］ボタンを押したまま
［ 同期＋ ］ボタンを押します。

ボタンを押すたびにSync. の値が１段階アップします。



本体の［ シフト ］ボタンを押したまま
［ 同期－ ］ボタンを押します。

ボタンを押すたびにSync. の値が１段階ダウンします。





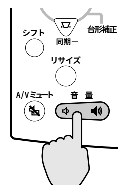
- **トラッキングを合わせてから同期を調整しないと、完全には調整できません。トラッキングのずれは、表示している画面によっては目立たない場合があります。縦線や網点の多い画面では目立ちやすくなりますので、トラッキングのずれを確認してください。**
- **ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト、シャープネス、台形補正の調整で起こることもあります。**

音量の調整

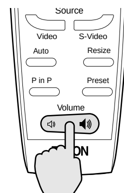
本機の内蔵スピーカ、または本機に接続している外部スピーカの音量を調節します。

操作

本体の [音量 🔉 ， 🔊] ボタンまたはリモコンの [Volume 🔉 ， 🔊] ボタンを押します。
「🔊」側を押すと音量が上がり、「🔉」側を押すと下がります。ボリューム値の変更中はボリュームゲージが表示されます。



本体



リモコン



外部スピーカへ出力しているときは、外部スピーカの音量が調整されます。

応用編

この章では、投写を効果的にするための機能と設定メニューについて説明しています。

投写を効果的にする機能

ここでは、プレゼンテーションなどに有効で便利な各機能について説明しています。

機能一覧

投写を効果的にする機能には、次のものがあります。

機能	概要	参照ページ
A/V ミュート機能	映像と音声を共に一時消去します。	P.54
フリーズ機能	映像だけを一時停止します。	P.55
ワイドサイズの映像を写す	ビデオ映像投写時にアスペクト比を 4：3 から 16：9 に切り替え、ワイドサイズの画面で投写します。	P.56
E ズーム機能	映像の一部を拡大します。	P.57
エフェクト 1	映像をポインタで指し示したり、ポインタのアイコンを指定の位置にスタンプできます。	P.58
エフェクト 2	映像の指定部分にスポットライトを当てます。	P.58
エフェクト 3	映像をバーで指し示します。	P.58
P in P 機能	コンピュータやコンポーネントビデオ映像の中にビデオ映像を子画面として表示します。	P.60

機能の詳細

各機能の詳細を説明します。

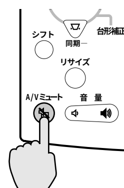
A/Vミュート

映像と音声を一時的に消します。
例えば、コンピュータの映像を投写中にファイルの切り替えを行うなど、操作内容を見ている人に表示したくない場合に使用すると便利です。
ただし、動画を消している場合は消えている間も映像と音声は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。

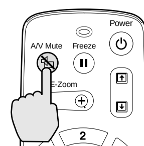
操作

本体の [A/V ミュート] ボタンまたはリモコンの [A/V Mute] ボタンを押します。
映像と音声が消えます。

本体およびリモコンのいずれかのボタンを押すと投写を再開します。



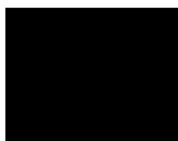
本体



リモコン

映像と音声を一時的に消したときの状態を、メニューの「設定」-「A/V ミュート」により、次の 3 種類の中から選択できます。☛ P.69

黒一色



初期設定

青一色



ユーザーロゴ





ユーザーロゴには EPSON ロゴが登録してあります。ユーザーロゴを変更する場合は、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。 **☛ P.93**

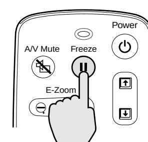
フリーズ

映像の動きを一時的に停止します。ただし、音声は停止しません。
なお、停止している間も映像は進んでいます。

操作

リモコンの [Freeze] ボタンを押します。
映像が停止します。

解除するには再び [Freeze] ボタンを押すか、[Esc] ボタンを押します。



リモコン



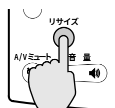
- **[Freeze] ボタンを押すと、メニュー表示、エフェクト機能、ヘルプメッセージは消去されます。**
- **P in Pで子画面決定後やEズーム実行時は、フリーズを行い、その表示画面を停止できます。**

ワイドサイズの映像を写す

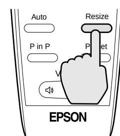
ビデオ映像投写時はアスペクト比4：3と16：9を切り替えることができます。デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16：9のワイド画面で投写できます。HDTV▸▸の場合は、中央部分を画面いっぱいに投写できます。

操作

本体の[リサイズ]ボタンまたはリモコンの[Resize]ボタンを押すたびに、画面サイズが切り替わります。

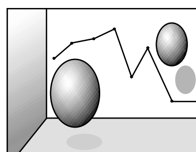


本体

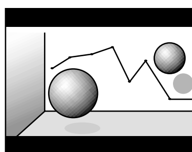


リモコン

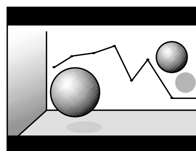
SDTV▸▸時


4：3表示

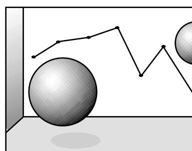



16：9表示

HDTV▸▸時


16：9表示



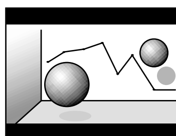

4：3表示



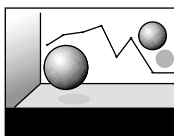
いくつかのBSデジタルチューナでは、4：3の映像を写すと上下左右に黒い枠が出るものがあります。このような場合に、本機で投写すると、画面いっぱいに投写できます。

16：9表示の位置変更

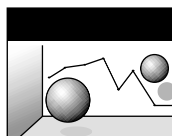
本体の[シフト]ボタンを押したまま[リサイズ]ボタンを押すたびに、次のように表示位置を変更できます


中央




上



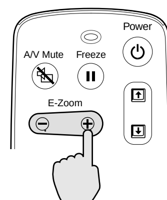

下

E ズーム

グラフや表など見たい部分を拡大 / 縮小できます。

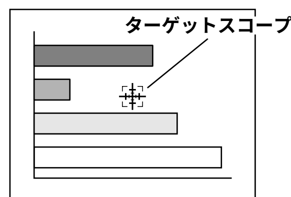
操作

1 **リモコンの [E-Zoom] ボタンを押します。**
投写中の画面に、ズームを行う中心点を表すカーソル (ターゲットスコープ) が表示されます。

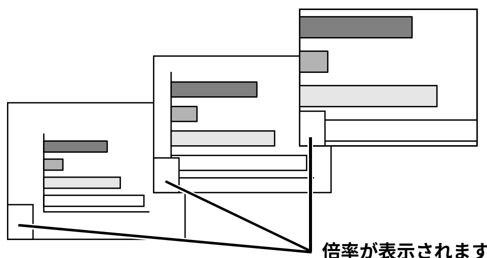


リモコン

2 **拡大 / 縮小表示したい部分にターゲットスコープを移動させます。**
ターゲットスコープはリモコンの ⏎ ボタンを傾けて移動します。



3 **「⊕」側を押すとターゲットスコープを中心に映像が拡大されます。「⊖」側を押すと拡大した結果を縮小します。**
画面左下に倍率が表示されます。
⏎ ボタンを傾けることによって、画面のスクロールができます。



解除するには [Esc] ボタンを押します。



- 1～4倍まで、0.125倍刻みに25段階で拡大できます。
- P in P 機能で子画面決定後は、親画面と子画面の両方に対して拡大機能を実行します。
- E ズームを行っているときはエフェクトは行えません。また、本体のボタン操作による台形補正、トラッキング調整、同期調整は行えません。
- 台形補正量が限界に近い状態でEズームを行おうとすると、メッセージが表示されEズームを行えないことがあります。この場合は、台形補正量が少なくなるように調整してください。

エフェクト

リモコンの［1］[2］[3］ボタンで、プレゼンテーション中の映像に表示効果を付けることができます。これにより、注目させたい部分をアピールすることができます。

エフェクト1 [1]	ポインタ / スタンプ	映像上にアイコンを表示してポインタとして操作できます。また、そのアイコンをスタンプとして描画もできます。
エフェクト2 [2]	スポット ライト	映像上の一部にスポットライトを当てることができます。
エフェクト3 [3]	バー	映像上にバー(水平・垂直線)を描画します。

操作

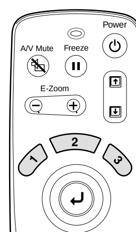
1 **リモコンの［1］[2］[3］ボタンのいずれかを押し、エフェクトの種類を選択します。**

画面中央に、次のようにアイコンやバーなどが表示されます。

[1]：ポインタのアイコン

[2]：スポットライト

[3]：バー



リモコン

2 **ポインタアイコンやバーの種類を選択します。**

[1]を押すたびに、ポインタアイコンが → → と順次切り替わります。

[2] を押すたびに、スポットライトの大きさが中→大→小と順次切り替わります。

[3]を押すたびに、バーの種類が → → と順次切り替わります。



メニューの「エフェクト」で、アイコンやバーの種類、スポットライトの大きさや表示される順序を設定できます。

3 リモコンの ⊕ ボタンを上下左右に傾けて、各表示を移動します。

エフェクト１：ポインタアイコンが移動します。
エフェクト２：スポットライトが移動します。
エフェクト３：水平バーの場合は上下に、垂直バーの場合は左右に移動します。

4 エフェクト 1 の場合は、スタンプしたい位置にアイコンを移動して、⊕ ボタンを押します。



- **エフェクト1〜3を重複して指定することはできません。エフェクト機能実行中に他のエフェクトボタンを押すと、現在のエフェクトが消えて、呼び出したエフェクトボタンの機能が実行されます。**
- **エフェクト機能中は、リモコンでの通常のワイヤレスマウス機能は行えません。**
- **台形補正量が限界に近い状態でエフェクトを行おうとすると、メッセージが表示されエフェクトを行えないことがあります。この場合には、台形補正量が少なくなるように調整してください。**

エフェクト解除

[１][２][３] ⊕ [Left] 以外のボタンを押すと、エフェクト機能は解除され、描画した内容は消去されます。

P in P(ピクチャー イン ピクチャー機能)

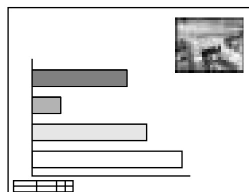
親画面にはコンピュータ、またはコンポーネントビデオ映像、子画面にはビデオ映像 (Video、S-Video) を表示できます。
子画面のビデオ映像は、メニューの「設定」-「P in P」で選択します。☛ P.68



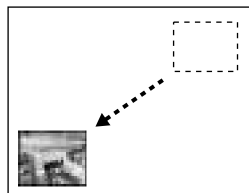
- **リフレッシュレートがインタレースに設定されているコンピュータ映像の場合、P in P機能は働きません。**
- **TV(525i)のコンポーネント映像の場合、P in P機能は働きません。**

操作

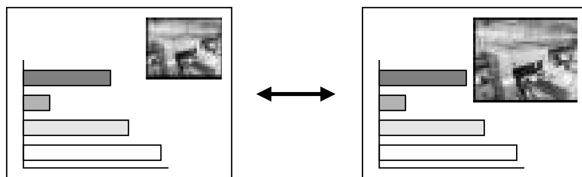
1 機器をすべて接続し、「設定」メニューで子画面の設定を行ったうえでリモコンの [P in P] ボタンを押します。
画面の右上に子画面が、左下に操作ガイドが表示されます。



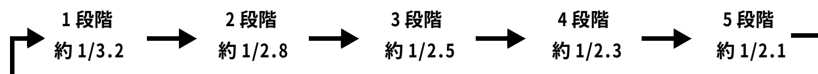
2 リモコンの ⏎ ボタンを傾けて、子画面の位置を移動します。



3 リモコンの [E-Zoom] ボタンを押して子画面のサイズを変更します。



子画面のサイズは5段階で切り替えられます。下記の値は、親画面の縦・横の各辺を1とした場合の子画面の辺の比率です。



[P in P] ボタンを押したときの、初期の子画面は2段階目の大きさとなります。

4 リモコンの ⏎ ボタンを押して、子画面の表示位置とサイズを決定します。

再び [P in P] ボタンを押すと子画面が消えます。



- 子画面の位置を変更し確定した場合、次に P in P 機能を実行すると子画面は前回確定した場所に表示されます。
- P in P 機能実行時に、E ズームを行うことができます。
- あらかじめメニューの「音声」-「音声入力」で親画面と子画面の音声入力端子を設定しておくと、エフェクトボタンによる音声の切り替えができます。
  エフェクト [1] ボタン：親画面の音声
  エフェクト [2] ボタン：子画面の音声
- 台形補正量が限界に近い状態で P in P を行おうとすると、メッセージが表示され P in P を行えないことがあります。
  この場合には、台形補正量が少なくなるように調整してください。

設定メニューの機能と操作

設定メニューでは、各種調整や設定ができます。
メニューは、トップメニューとサブメニュー、サブサブメニューがあり、階層構造になっています。
メニューの操作方法の詳細は「メニューの操作」（☛P.73）をご覧ください。



機能一覧

「映像」メニュー

- 映像信号が何も入っていないときは、「映像」メニューは調整できません。
- 「映像」メニューは投写している入力ソースによって表示される項目が異なります。投写している入力ソース以外のメニューは調整できません。

Analog-RGB



Digital-RGB

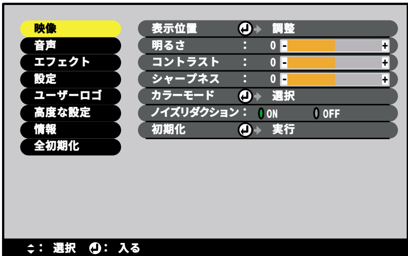


コンピュータ（Analog-RGB、Digital-RGB）

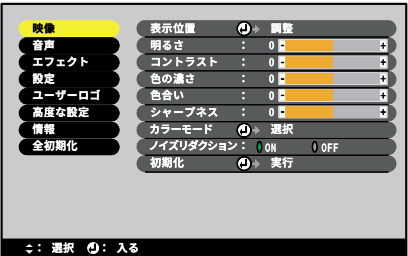
トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
映像	表示位置	(Analog-RGB のみ) 映像の表示位置を上下左右に移動します。 ・ボタンを押して表示される表示位置調整画面で調整します。	接続信号による
	トラッキング	(Analog-RGB のみ) コンピュータ映像に縦の縞模様が出るときに調整します。	接続信号による
	同期	(Analog-RGB のみ) コンピュータ映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 ・ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト、シャープネス、台形補正の調整で発生することもあります。 ・トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。	0
	明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値(0)
	コントラスト	映像の明暗の差を調整します。 ・設定方法には Auto と Manual があります。Auto 設定にすると、定期的にコントラストの自動調整を行います。	Auto
	シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値(0)
	カラーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース(コンピュータ、ビデオ機器)ごとに設定を保存できます。 6 種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 ・sRGB ：sRGB 規格に準拠した映像にします。※ ・ノーマル：明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。 ・ミーティング：補色をせず、元の色合いのままメリハリを付けた映像にします。 ・プレゼンテーション：暗い部屋でのプレゼンテーション用です。 ・シアター：自然な色合いで映画に最適です。 ・ゲーム ：自然な色合いで、メリハリのある映像にします。ゲームに最適です。	ノーマル
	入力解像度	(Analog-RGB のみ) Auto か Manual を選択します。 ・Auto を選択するとオートセットアップを実行します。 ・Manual を選択した場合、入力解像度をリストから選択して調整します。	Auto
	プリセット登録	(Analog-RGB のみ) プリセットリストへ現在の入力解像度の登録を行います。	-
	初期化	「映像」メニューの調整値を初期値に戻します。 ・ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ P.72	-

※ sRGB に設定すると「高度な設定」-「カラー調整」の色温度が 6500K に固定されます。

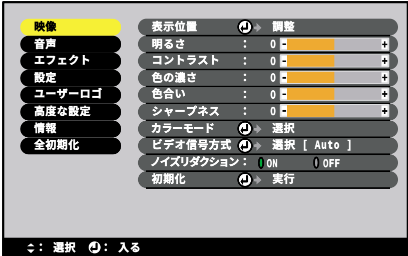
RGB ビデオ



コンポーネント（YCbCr,YPbPr）



S-Video,Video



ビデオ (RGB-Video、YCbCr、YPbPr、S-Video、Video)

トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
映像	表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 ・ ボタンを押して表示される表示位置調整画面で調整します。	接続信号による
	明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値 (0)
	コントラスト	映像の明暗の差を調整します。	中心値 (0)
	色の濃さ	(RGB ビデオは不可) 映像の色の濃さを調整します。	中心値 (0)
	色合い	(RGB ビデオは不可) 映像の色合いを調整します。 NTSC 信号時のみ調整可	中心値 (0)
	シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値 (0)

トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
映像	カラーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース(コンピュータ、ビデオ機器)ごとに設定を保存できます。 6種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 ・sRGB ：sRGB規格に準拠した映像にします。※ ・ノーマル：明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。 ・ミーティング：補色をせず、元の色合いのままメリハリを付けた映像にします。 ・プレゼンテーション：暗い部屋でのプレゼンテーション用です。 ・シアター：自然な色合いで映画に最適です。白黒伸長機能が働き、黒っぽい映像時や白っぽく明るい映像時も階調(色の濃淡)差をはっきりさせ、見やすい映像にします。 ・ゲーム ：自然な色合いで、メリハリのある映像にします。ゲームに最適です。	シアター
	ビデオ信号方式	ビデオ信号方式を設定します。 ・ボタンを押して表示されるVideo信号方式選択メニューから選択します。 ・「Auto」にすると自動的にビデオ信号を設定しますが、PAL(60Hz)方式の場合はManualで設定してください。	Auto
	ノイズリダクション	ノイズリダクション機能のON/OFFを設定します。 「ON」に設定すると、ノイズを軽減します。 メニューやヘルプを表示している間は「ON」にしても機能しません。終了した時点から機能が有効となります。	ON
	初期化	「映像」メニューの調整値を初期値に戻します。 ・ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ P.72	-

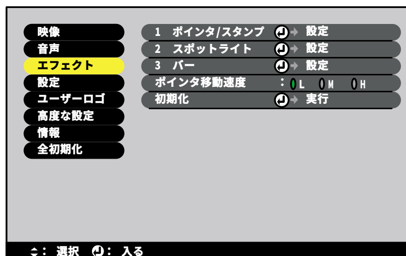
※ sRGBに設定すると「高度な設定」-「カラー調整」の色温度が6500Kに固定されます。

「音声」メニュー



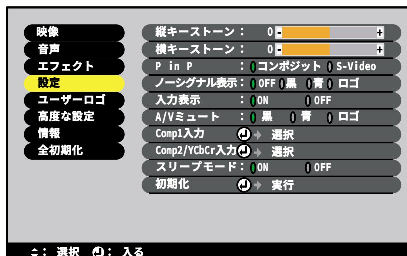
トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
音声	音声入力	Audio1/Audio2/USB から、現在の映像ソースに対応する音声入力端子の設定を行います。	接続信号により異なる
	音量	音量を調節します。	15
	高音	高音の強さを調整をします。	中心値 (0)
	低音	低音の強さを調整をします。	中心値 (0)
	初期化	「音声」メニューの調整値を初期値に戻します。 ・ ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ P.72	-

「エフェクト」メニュー



トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
エフェクト	ポインタ / スタンプ	リモコンの [1] ボタンを押したときに表示されるポインタアイコン3種類を、8種類のアイコンの中から選び、さらに表示倍率を設定します。 ・ボタンを押して表示されるポインタ / スタンプ設定メニューで項目を選択し、設定します。 ・ポインタ / スタンプはリモコンの [1] ボタンで実行します。 ☛ P.58	→ →
	スポットライト	リモコンの [2] ボタンを押したときに表示されるスポットライトの大きさを設定します。 ・ボタンを押して表示されるスポットライト設定メニューで項目を選択し、設定します。リモコンの [2] ボタンを押すだびに切り替わる、スポットライトの大きさの順番を決めます。 ・スポットライトはリモコンの [2] ボタンで実行します。 ☛ P.58	大きさ： 中→大→小
	バー	リモコンの [3] ボタンを押したときに表示されるバーの色や方向、線幅を設定します。 ・ボタンを押して表示されるバー設定メニューで項目を選択し、設定します。 ・バーはリモコンの [3] ボタンで実行します。 ☛ P.58	→ →
	ポインタ移動速度	ポインタの移動速度を選択します。 L：遅い　M：中間　H：早い	M
	初期化	「エフェクト」メニューの調整値を初期値に戻します。 ・ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ P.72	-

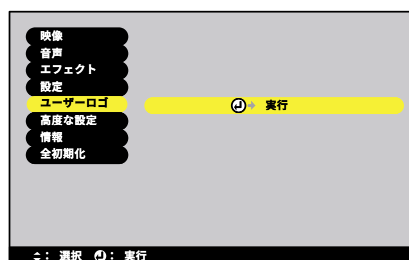
「設定」メニュー



トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
設定	縦キーストーン	台形にゆがんだ画面を垂直方向に補正します。 ・台形補正をすると画面が小さくなります。 ・水平 / 垂直の台形補正を組み合わせて使う場合は、まず垂直方向の台形補正を行ってから水平方向の台形補正を行ってください。 ・台形補正の状態は記憶されます。投写位置や角度を変えたときは、設置位置にあった状態に再調整してください。 ・台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。 ・水平・垂直の台形補正を組み合わせて使うと、それぞれ単独で調整する場合よりも、補正量が少なくなります。	中心値 (0)
	横キーストーン	台形にゆがんだ画面を水平方向に補正します。 ・台形補正をすると画面が小さくなります。 ・水平 / 垂直の台形補正を組み合わせて使う場合は、まず垂直方向の台形補正を行ってから水平方向の台形補正を行ってください。 ・台形補正の状態は記憶されます。投写位置や角度を変えたときは、設置位置にあった状態に再調整してください。 ・台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。 ・水平・垂直の台形補正を組み合わせて使うと、それぞれ単独で調整する場合よりも、補正量が少なくなります。	中心値 (0)
	P in P	ピクチャー イン ピクチャー機能の子画面の入力ソースを、コンポジットビデオ、S-Video のどちらかに設定します。 ・ピクチャー イン ピクチャー機能は [P in P] ボタンで実行します。 ☛ P.60	コンポジット
	ノーシグナル表示	映像信号が入力されていないときなどのメッセージ表示の状態、バックグラウンドの画面の設定を行います。 ・ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。 ☛ P.93	青

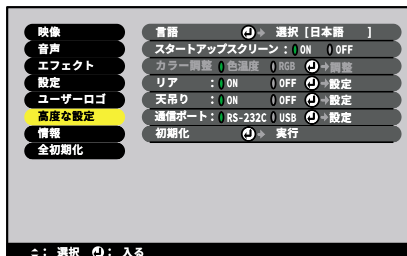
トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
設定	入力表示	入力映像のソースプロンプトを画面に表示するかしないかを設定します。	ON
	A/V ミュート	本体の [A/V ミュート] またはリモコンの [A/V Mute] ボタンを押したときの画面の状態を設定します。 ・ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。	黒
	Comp1 入力	Computer1 入力への映像信号の設定を行います。	Digital-RGB /Analog-RGB
	Comp2/YCbCr 入力	Computer2 入力への映像信号の設定を行います。	Analog-RGB
	スリープモード	映像信号が入力されていないときの省電力機能を設定します。 ・「ON」にしておくと、「映像信号が入力されていません」の表示状態で 30 分間操作しないと自動的に投写を終了し、スリープモード (スタンバイ状態) になります。(オペレーションインジケータはオレンジ色に点灯しています。) ・本体の [電源] ボタンまたはリモコンの [Power] ボタンを押すと投写を再開します。	ON
	初期化	「設定」メニューの調整値を初期値に戻します。 ・ ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。	-

「ユーザーロゴ」メニュー



トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
ユーザーロゴ	実行	ユーザーロゴを登録します。 ☛ P.93 ・ ボタンを押して、表示される画面の指示に従って操作します。	EPSON ロゴ

「高度な設定」メニュー



トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
高度な設定	言語	メッセージに表示する言語を設定します。 ・↵ボタンを押して表示される言語の選択メニューから選択します。	日本語
	スタートアップスクリーン	スタートアップスクリーンの表示の有効・無効の設定を行います。 ・ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。	ON
	カラー調整	映像の色温度と RGB の各色の強さを調整します。 色温度：色温度を設定します。 ・↵ボタンを押して表示されるカラー調整メニューで設定します。 RGB：RGB(赤緑青) の各色ごとの強さを設定します。 ・↵ボタンを押して表示されるカラー定義メニューで R(赤)、G(緑)、B(青) の項目を選択し、それぞれ設定します。 ・設定は画面の状態を見ながら調整してください。 (「映像」-「カラーモード」の調整値を「sRGB」に設定している場合、本項目は選択できません)	色温度：接続信号により異なる
	リア	半透過性のスクリーンに後方から投写するときに使います。 「ON」に設定すると投写映像が左右に反転します。	OFF
	天吊り	天井に取り付けて投写するときに使います。 「ON」に設定すると投写映像が上下左右に反転します。	OFF
	通信ポート	Control(RS-232C) と USB シリアル通信を切り替えます。	RS-232C
	初期化	「高度な設定」メニューの調整値を初期値に戻します。 ・↵ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。	-

「情報」メニュー

- 「情報」メニューは投写している入力ソースの設定状態を表示します。
- 「ランプ点灯時間」は、0～10時間までは0Hとして表示されます。10時間以上は1時間単位で表示します。

コンピュータ



コンピュータ（Digital-RGB、Analog-RGB、RGB-Video、YCbCr、YPbPr）

トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
情報	ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間を表示します。 ・ランプ寿命警告時間に達すると、文字が警告色（赤）で表示されます。	0H
	ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の初期化を行います。実行すると、ランプ点灯時間の累積が初期設定値にクリアされます。	-
	映像ソース	現在投写中の入力ソースを表示します。	
	入力信号	入力信号の設定を表示します。	
	周波数	水平走査周波数を表示します。	-
	同期極性	同期の極性を表示します。	-
	同期モード	同期の属性を表示します。	-
	入力解像度	入力解像度を表示します。	-
	リフレッシュレート▶▶	リフレッシュレートを表示します。	-

ビデオ



ビデオ（S-Video、Video）

トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
情報	ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間を表示します。 ・ランプ寿命警告時間に達すると、文字が警告色（赤）で表示されます。	0H
	ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の初期化を行います。実行すると、ランプの点灯時間の累積が初期設定値にクリアされます。	-
	映像ソース	現在投写中の入力ソースを表示します。	
	ビデオ信号方式	ビデオの信号方式を表示します。	Auto

「全初期化」メニュー



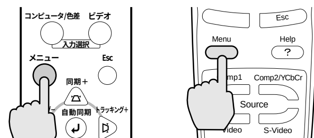
トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
全初期化	実行	設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 ・ ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などメニューごとの設定を初期値に戻すときは、それぞれのサブメニューで「初期化」を実行してください。 ・ユーザーロゴ、ランプ点灯時間、言語は初期値に戻りません。	-

メニューの操作

メニューは本体とリモコンの両方で操作できます。

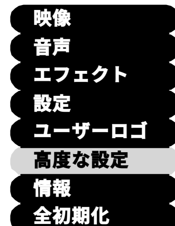
操作

1 **本体の [メニュー] ボタンまたは、リモコンの [Menu] ボタンを押します。**
トップメニューが表示されます。

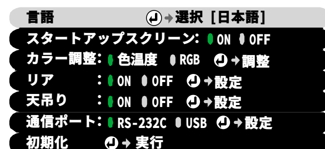


本体　　リモコン

2 **項目を選択します。**
本体の場合は、[同期+] [同期 -] ボタンを押します。
リモコンの場合は、↵ ボタンを上下に傾けます。



3 **項目を決定します。**
↵ ボタンを押して項目を決定します。
サブメニューが表示されます。



4 **サブ項目を選択します。**
本体の場合は、[同期+] [同期 -] ボタンを押します。
リモコンの場合は、↵ ボタンを上下に傾けます。



「映像」メニューや「情報」メニューは、投写している入力ソースによって表示される項目が異なります。

5 設定値を選択します。

本体の場合は、[トラッキング -] [トラッキング +] ボタンを押します。
リモコンの場合は、⏎ボタンを左右に傾けます。





- **設定を実行したり下の階層へ続くサブ項目は、項目名の後ろに ⏎ (Enter) が付いています。この項目の場合は ⏎ ボタンを押して決定した後、さらに設定値を選択します。**
- **各設定項目の機能については機能一覧を参照してください。** ☛ P.62

6 続いて他の項目も同様に設定します。

手順2～5と同様です。1つ前の階層に戻るには、[Esc] ボタンを押します。

7 メニューを終了します。

本体の [メニュー] ボタンまたは、リモコンの [Menu] ボタンを押します。

付　録

ここでは、トラブルの解決法やメンテナンス方法など、本機を今後も長くご使用いただくための補足的な知識について説明しています。

困ったときに

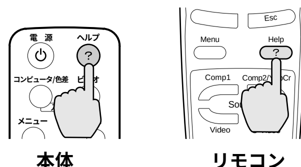
ここでは、想定されるトラブルおよび対処方法を説明しています。

ヘルプの見方

トラブル発生時の解決方法を投写画面に表示できます。質問に答える形式で階層を進んでいきます。

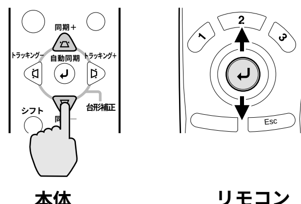
操作

1　本体の [ヘルプ] ボタンまたは、リモコンの [Help] ボタンを押します。
ヘルプメニューが表示されます。

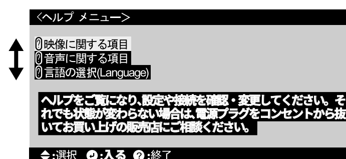


本体　リモコン

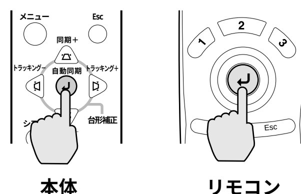
2　項目を選択します。
本体の場合は、[同期+] [同期 -] ボタンが上下キーとして機能します。
リモコンの場合は、⏎ ボタンを上下に傾けます。



本体　リモコン

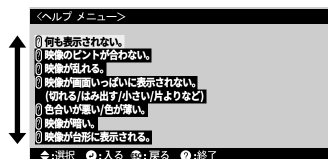


3　項目を決定します。
⏎ ボタンを押して項目を決定します。
[Esc] ボタンを押すとひとつ前のメニューへ戻ります。



本体　リモコン

4 **手順2、3の操作と同様にさらに詳細な項目を選択・決定します。**



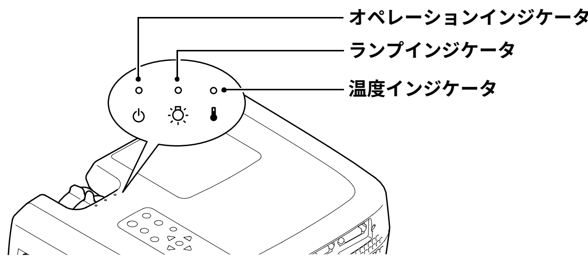
本体の [ヘルプ] ボタンまたはリモコンの
[Help] ボタンを押すとヘルプメニューは解除されます。



ヘルプ機能を使っても分からないときは、「故障かなと思ったら」(☛ P.78) および「インジケータを見てもわからないとき」(☛ P.81) をご覧ください。

故障かなと思ったら

故障かな？と思ったら、まず本体のインジケータをご覧ください。
本機には、次の3種類のインジケータがあり本機の状態を知らせています。



インジケータの状態とその対処方法については、以下の表を参照してください。

● ：点灯　☼ ：点滅　○ ：消灯

インジケータの状態	状態	原因と処置	参照ページ
赤 ● ⏻　赤 ☼ ランプ　赤 ☼ 温度	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター（本書裏表紙に記載）に修理を依頼してください。	
赤 ● ⏻　○ ランプ　赤 ☼ 温度	ファン異常 / センサ異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター（本書裏表紙に記載）に修理を依頼してください。	
赤 ● ⏻　赤 ● ランプ　○ 温度	ランプ異常	新しいランプと交換してください。 ランプの交換を行った場合は、ランプやランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。ランプおよびランプカバーが確実に取り付けられていない場合は、電源が入らない構造になっています。	P.90

インジケータの状態	状態	原因と処置	参照ページ
赤 ● ⏻ / 赤 ☼ ランプ / ○ 温度	ランプ点灯失敗	前回、終了時にクールダウンが完全に終わらないうちに電源プラグを抜いた場合は、この状態になることがあります。 約 2 分間は、そのままの状態でお待ちください。 約 2 分経過すると、本機のファンが停止します。 ファンが停止したら電源プラグを一旦抜いて、差し直します。電源プラグを差し直すと、状態が復帰しますので本体の [電源] ボタンまたはリモコンの [Power] ボタンを押して電源を入れ直します。 電源を入れ直したときに繰り返しランプ点灯失敗状態になった場合は、ランプを取り出し、ランプが割れていないか確認します。割れていなければセットし直します。割れている場合は、ランプを交換します。その後、本体の [電源] ボタン、またはリモコンの [Power] ボタンを押します。 それでも、インジケータが異常を示したときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター(本書裏表紙に記載) に修理を依頼してください。	P.90
赤 ● ⏻ / ○ ランプ / 赤 ● 温度	内部高温異常 (オーバーヒート)	ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約 5 分間は、そのままの状態でお待ちください。約 5 分経過すると、本機のファンが停止します。ファンが停止したら電源プラグを一旦抜いて、差し直します。 オーバーヒートした場合は、次の 2 点を確認して改善します。 ● 通気のよい場所に設置していますか。 吸気口・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 ● エアーフィルタにホコリが溜まっていませんか。 エアーフィルタが汚れている場合は、掃除をしてください。 電源プラグを差し直すと、状態が復帰しますので本体の [電源] ボタンまたは、リモコンの [Power] ボタンを押して電源を入れ直します。 上記の改善を行っても、繰り返しオーバーヒート状態になったり、電源を入れ直したときにインジケータが異常を示したときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター(本書裏表紙に記載) に修理を依頼してください。	P.18 P.88
赤 ☼ ⏻ / ○ ランプ / ｵﾚﾝｼﾞ ☼ 温度	高速冷却中	(異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動的に停止します。) ● 吸気口・排気口をふさがないよう、通気性の良い場所に設置してください。 ● エアーフィルタの掃除をしてください。	P.18 P.88

インジケータの状態	状態	原因と処置	参照ページ
ｵﾚﾝｼﾞ	ランプの交換時期が近い	新しいランプの用意をしてください。 使用条件により交換時期が早まる場合がありますので、早めのランプ交換をお勧めします。 ※ オペレーションインジケータは、そのときのプロジェクターの状態により異なります。	P.89
ｵﾚﾝｼﾞ	スタンバイ状態	(異常ではありません。) 本体の [電源] ボタンまたは、リモコンの [Power] ボタンを押すと投写を開始します。	P.39
緑	ウォームアップ中	(異常ではありません。) そのまましばらくお待ちください。緑色の点滅が点灯に変わります。	P.39
緑	投写中	(異常ではありません。)	P.39
ｵﾚﾝｼﾞ	クールダウン中	(異常ではありません。) ● そのまましばらくお待ちください。クールダウン (ランプを冷やす動作) の時間は約 2 分です。この時間は、外気温などによって変わります。 ● クールダウン中は本体の [電源] ボタン、リモコンの [Power] ボタンは操作できません。クールダウンが終了し、オレンジ色の点灯に変わってから、もう一度操作してください。	P.41

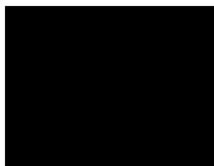


- **インジケータは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、次ページの「インジケータを見てもわからないとき」をご覧ください。**
- **各インジケータがこの表にない状態のときは、販売店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。**

インジケータを見てもわからないとき

次のような現象でインジケータを見てもわからないときは、各項目を参照してください。

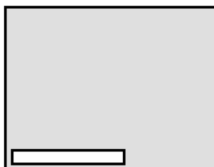
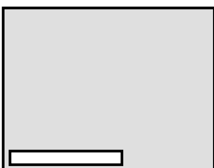
映像が写らない (何も表示されない)



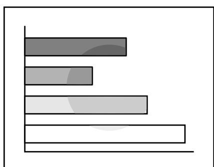
映像が写らない

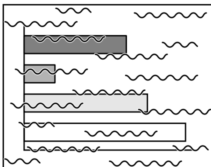
- **レンズカバーが付いたままではありませんか？**
  ☛ P.38
- **電源を OFF にした後で、すぐ ON にしませんでしたか？**
  投写終了直後 (クールダウン中) は本体の [電源] ボタンまたはリモコンの [Power] ボタンの操作はできません。クールダウン が終了してから本体の [電源] またはリモコンの [Power] ボタンの操作が有効となります。☛ P.41
- **スリープモードを ON にしていませんか？**
  スリープモードを「ON」に設定した場合、映像信号が入らない状態で 30 分間操作しないと、ランプが自動的に消灯します。このときオペレーションインジケータがオレンジ色に点灯します。☛「設定」-「スリープモード」P.69
- **[電源] ボタンまたは [Power] ボタンを押しましたか？**
  ☛ P.39
- **映像の明るさは正しく調整されていますか？**
  ☛「映像」-「明るさ」P.63
- **[A/V ミュート] モードになっていませんか？**
  ☛ P.54
- **入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？**
  スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
- **映像信号が入力されていますか？**
  メニューの「設定」-「ノーシグナル表示」で「OFF」に設定しているときは、メッセージが表示されません。黒または青に設定して、メッセージを表示させてください。メッセージが表示されたときは、それぞれの項目を参照してください。☛ P.68
- **全初期化してみてください。**
  ☛「全初期化」-「実行」P.72

映像が写らない（メッセージが出る）

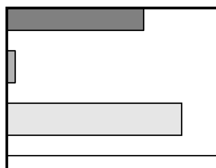
 「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される	● **コンピュータから出力されている映像信号の周波数が対応するモードか確認してください。** コンピュータから出力されている映像信号の解像度・周波数の変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。 ☛ P.100 ● **入力信号が接続機器に合っていますか？** メニューの「設定」-「Comp1 入力」または「Comp2/YCbCr 入力」で機器の信号に合った信号方式を設定してください。 Comp1 の場合：Digital-RGB、Analog-RGB、RGB-Video Comp2 の場合：Analog-RGB、RGB-Video、YCbCr、YPbPr ☛ P.69
 「映像信号が入力されていません。」と表示される	● **ケーブル類が正しく接続されていますか？** ☛ P.19 ～ P.35 ● **接続した映像入力端子を正しく選択させていますか？** 本体の [コンピュータ / 色差]、[ビデオ](リモコンの場合は [Comp1]、[Comp2/YCbCr]、[Video]、[S-Video]) ボタンを押し、映像を切り替えてください。 ☛ P.40 ● **接続されたコンピュータまたはビデオ機器の電源は入っていますか？ ☛ P.39** ● **ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータのときには、プロジェクターに映像信号を出力させることが必要になります。** 通常は映像信号が液晶画面への出力だけで、外部に出力されていませんので、外部に切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶画面に映像が出せないモデルもあります。接続したコンピュータの取扱説明書「外部出力のしかた」「外付けモニタへ出力のしかた」などを参照してください。 ☛ P.40

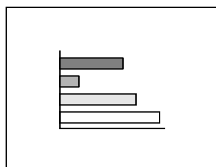
映像が汚い

 ・映像がぼやける ・映像の一部しかピントが合わない ・ピントがまったく合わない	● **ピントは正しく調整されていますか？** ☛ P.48 ● **フット調整で投写角度が大きくなっていませんか？** 投写角度が大きい場合、上下でピントがずれて合いにくくなることがあります。 ☛ P.44 ● **投写距離は最適ですか？** 投写距離の推奨範囲は、0.87m ～ 12.48m です。この範囲で設置してください。 ☛ P.18 ● **投写光がスクリーンに対して直角になっていますか？** ☛ P.44 ● **レンズが汚れていませんか？** ☛ P.87

	● **レンズが結露していませんか？** 寒い部屋から急に暖かい部屋へ持ち込んだときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがありますが、電源を切ってしばらく放置してください。 ● **「同期・トラッキング・表示位置」は正しく調整されていますか？** 本体の [自動同期] ボタンまたはリモコンの [Auto] ボタンを押して調整します。メニューを開いて調整することもできます。 ☛ P.48,「映像」メニューP.63 ● **映像の信号形式の設定は合っていますか？** メニューの「映像」-「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。入力しているビデオ信号により Auto では判別できないことがあります。 ☛ P.65 ● **入力信号が接続機器に合っていますか？** メニューの「設定」-「Comp1 入力」または「Comp2/YCbCr 入力」で機器の信号に合った信号方式を設定してください。 Comp1 の場合：Digital-RGB 、Analog-RGB 、RGB-Video Comp2 の場合：Analog-RGB 、RGB-Video 、YCbCr 、YPbPr ☛ P.69
 **・映像が乱れる** **・ノイズが入る**	● **ケーブルは正しく接続されていますか？** ☛ P.19 〜 P.35 ● **解像度の選択は正しいですか？** 本プロジェクターに対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。 ☛ P.100 ● **「同期・トラッキング・表示位置」は正しく調整されていますか？** 本体の [自動同期] またはリモコンの [Auto] ボタンを押して調整します。メニューを開いて調整することもできます。 ☛ P.48,P.63 ● **ケーブルを延長していませんか？** ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを使用するか、増幅機器などを接続して確認してください。 ● **映像の信号形式の設定は合っていますか？** メニューの「映像」-「ビデオ信号方式」で、ビデオ信号方式を選択してください。入力しているビデオ信号により Auto では判別できないことがあります。 ☛ P.65 ● **入力信号が接続機器に合っていますか？** メニューの「設定」-「Comp1 入力」または「Comp2/YCbCr 入力」で機器の信号に合った信号方式を設定してください。 Comp1 の場合：Digital-RGB 、Analog-RGB 、RGB-Video Comp2 の場合：Analog-RGB 、RGB-Video 、YCbCr 、YPbPr ☛ P.69

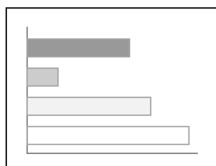
映像が切れる (大きい / 小さい)


映像が切れる


小さい

- **「Resize」が正しく選択されていない可能性があります。**
  本体の [リサイズ] ボタンまたはリモコンの [Resize] ボタンを押してください。 ☛ P.43,56
- **「表示位置」は正しく調整されていますか？**
  メニューの「映像」-「表示位置」で調整してください。
  ☛ P.63
- **解像度の選択は正しいですか？**
  本プロジェクターに対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。 ☛ P.100
- **ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータの解像度を変更してください。**
  画面いっぱいの表示になるよう解像度を変更するか、映像信号を外部出力のみにしてください。 ☛ P.40
- **デュアルディスプレイの設定をしていませんか？**
  コントロールパネルの「画面のプロパティ」で、デュアルディスプレイの設定をしていると、プロジェクターでコンピュータ画面の映像が半分くらいしか表示できません。コンピュータ画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除します。詳しくは、お使いのコンピュータに組み込んでいるビデオドライバのマニュアルをご覧ください。

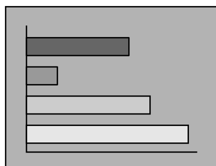
映像の色が悪い



- **映像の明るさは正しく調整されていますか？**
  ☛「映像」-「明るさ」P.63
- **ケーブル類が正しく接続されていますか？**
  ☛ P.19 ～ P.35
- **コントラスト▸▸は正しく調整されていますか？**
  ☛「映像」-「コントラスト」P.63
- **カラー設定は正しく設定されていますか？**
  ☛「映像」-「カラーモード」P.63
- **色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？**
  (コンピュータのモニタや液晶画面への表示と映像の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)
  ☛「映像」-「色の濃さ」P.64、「映像」-「色合い」P.64
- **ランプの交換時期ではありませんか？**
  ランプインジケータがオレンジ色で点滅している場合は、ランプの交換時期が近づいてきていることを知らせています。ランプの交換時期が近づきますと映像が暗くなったり色合いが悪くなりますので、新しいランプと交換してください。 ☛ P.89

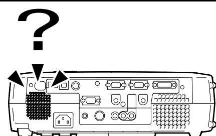
- **入力信号が接続機器に合っていますか？**
  メニューの「設定」-「Comp1入力」または「Comp2/YCbCr入力」で機器の信号に合った信号方式を設定してください。
  Comp1の場合：Digital-RGB、Analog-RGB、RGB-Video
  Comp2の場合：Analog-RGB、RGB-Video、YCbCr、YPbPr
  ☛P.69

映像が暗い



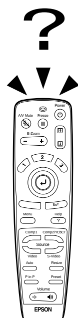
- **ランプの交換時期ではありませんか？**
  ランプインジケータがオレンジ色で点滅している場合は、ランプの交換時期が近づいてきていることを知らせています。ランプの交換時期が近づきますと映像が暗くなったり色合いが悪くなりますので、新しいランプと交換してください。☛P.89
- **映像の明るさは正しく調整されていますか？**
  ☛「映像」-「明るさ」P.63
- **コントラストは正しく調整されていますか？**
  ☛「映像」-「コントラスト」P.63

音が出ない



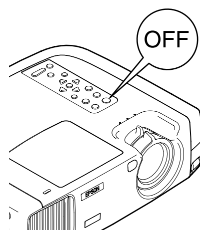
- **音声入力は正しく接続されていますか？☛P.24**
- **音声を入力する端子が選択されていますか？**
  メニューの「音声」-「音声入力」で音声を入力する端子を設定します。☛P.66
- **接続した機器から音が出ていますか？**
  接続機器の音量などを確認してください。
- **音量調整が最小になっていませんか？**
  ☛P.51
- **[A/V ミュート] がONのままではありませんか？**
  「A/V ミュート」モードになっていることが考えられます。本体の[A/V ミュート]ボタンまたは、リモコンの[A/V Mute]ボタンを押して「A/V ミュート」を解除してください。☛P.54
- **外部スピーカへ出力していませんか？**
  Audio Out端子へステレオミニジャックを接続しているときは、本体のスピーカから音声は出力されません。☛P.35
- **コンピュータ側で本機のUSBオーディオが選択されていますか？**
  USB経由でコンピュータの音声を出す場合は、コンピュータ側のオーディオのプロパティで、本機のUSBオーディオが選択されていなくてはなりません。

リモコンで操作できない



- **リモコンの R/C スイッチが「ON」になっていますか？**
  ☛ P.14
- **正しい方向に向けてリモコンを操作していますか？**
  操作可能範囲は、左右約 30°、上下約 15°です。
- **プロジェクターとの距離が遠すぎませんか？**
  操作可能距離は、約 10m です。☛ P.14
- **リモコンレシーバーを接続していて、リモコンをプロジェクターに向けて操作していませんか？**
- **リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？**
- **乾電池は入っていますか？**
  ☛ P.13
- **乾電池が消耗していませんか？**
- **乾電池が逆にセットされていませんか？**
  ☛ P.13
- **PS/2 マウス接続時に動作しない場合は、コンピュータの再起動が必要です。**

終了しない ([電源] ボタンまたは [Power] ボタンを押した後に…)



- **オペレーションインジケータがオレンジに点灯したままになっている。**
  本プロジェクターは電源を切ってもオペレーションインジケータは消灯しない構造になっています。コンセントから電源プラグを抜くと、オペレーションインジケータは消灯します。
- **ファンが止まらない。**
  本体の [電源] ボタンまたはリモコンの [Power] ボタンを押して電源を切った後、クールダウン▸▸
  (投写ランプを冷やす動作：オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅しています) を行います。
  その後オペレーションインジケータがオレンジに点灯しますので、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  ※クールダウンの時間は、約 2 分です。この時間は外気温などによって変わります。

お手入れの方法

ここでは、お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明しています。

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の写りが悪くなったら掃除をしてください。
掃除にあたっては、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みになり、取り扱い上の注意を確認してから行ってください。

本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。



ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

レンズの掃除

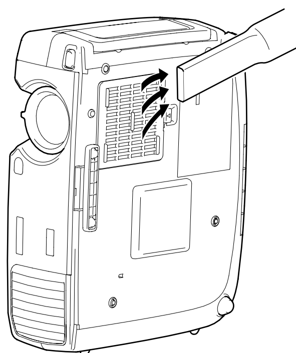
レンズの汚れは、市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどで軽くふき取ってください。



レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

エアーフィルタの掃除

エアーフィルタにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となります。
エアーフィルタのごみが中に入らないように、必ず本機を立てたまま掃除機でほこりを吸い取ってください。





- **エアーフィルタの汚れが落ちなくなったり、破れたりしたら交換時期ですので、販売店にご相談ください。**
- **交換用ランプには、交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に、一緒に交換してください。**

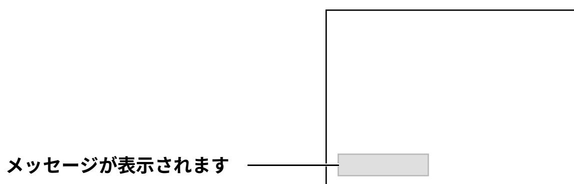
消耗品の交換

ここでは、ランプとエアーフィルタの交換方法について説明しています。

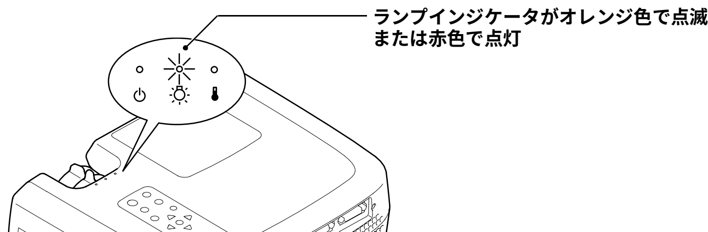
ランプの交換時期

次のときは、ランプを交換してください。

- **投写を開始したときに「投写ランプを交換してください」とメッセージが30 秒間表示されたとき**



- **ランプインジケータがオレンジ色で点滅、または赤色で点灯したとき**



- **初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき**



- **初期の明るさや画質を維持するため、メッセージが表示されたら、なるべく早めにランプを交換してください。**
- **交換表示は、初期の明るさや画質を維持するため、約1400時間で表示されます。交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。**
- **交換表示は約1400時間で出ますが、個々のランプの特性や使用条件などで、1400 時間前に暗くなったり、点灯しなくなるものがありますので、交換用ランプを準備しておくことをお奨めします。**
- **ランプ交換勧告のメッセージが表示された場合は、スタートアップスクリーンの設定を ON にしていてもユーザーロゴは表示されません。**
- **交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンOA サプライ株式会社フリーダイヤル (0120)251-528 でお買い求めください。**

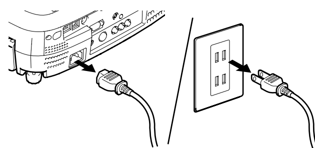
ランプの交換方法


注意

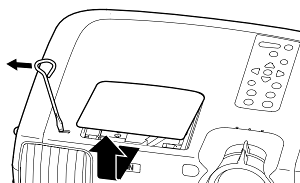
ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。
本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーをそっと取り外してください。また、ランプカバーの真下に立たずに、横から作業してください。

操作

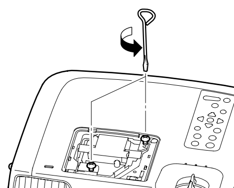
1 本体の電源を切り、クールダウンが終了してから、電源ケーブルを外します。
クールダウンの時間は、約２分です。この時間は外気温などによって変わります。



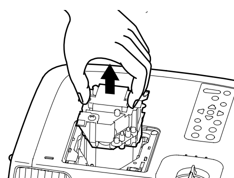
2 ランプが十分冷えてからランプカバーを外します。
ランプが十分冷えるには約30分間必要です。ランプカバー開スイッチを交換用ランプに付属のドライバでスライドさせると、ランプカバーが浮き上がります。浮き上がった部分に指をかけて本機正面側にスライドさせ、カバーを取り外します。



3 ランプ固定ねじ２本をゆるめます。
ランプを本体に固定しているランプ固定ねじ 2 本を、交換用ランプに付属のドライバでゆるめます。

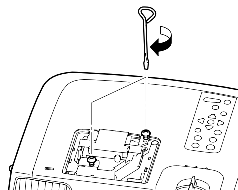


4 ランプを引き出します。
ランプの上面部分のくぼみを指ではさんで持ち上げ、ランプを引き出します。



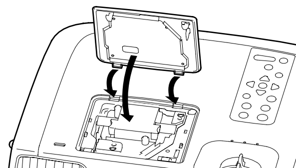
5 新しいランプを取り付けます。

ランプを収納部の形に合う向きにして、カチッと音がするまで押し込み、ランプ固定ねじ２本を締めます。



6 ランプカバーを取り付けます。

カバーの２ヶ所のツメを本体に差し込み、反対側をカチッと音がするまで押し込みます。





- **ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だとランプが点灯しません。**
- **交換用ランプに交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に合わせて交換してください。**
- **使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。**

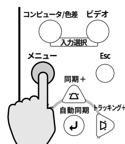
ランプ点灯時間の初期化

本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、カウンタの累積が一定時間に達すると、ランプ交換の表示を行います。したがって、ランプ交換を実施した後は、メニューでランプ点灯時間のカウンタを初期化する必要があります。

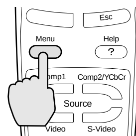
操作

1 本体の [メニュー] ボタンまたは、リモコンの [Menu] ボタンを押します。

トップメニューが表示されます。



本体



リモコン

2 「情報」-「ランプ点灯時間初期化」の項目を選択し、↵ ボタンを押します。

ランプ点灯時間	:	0000 H
ランプ点灯時間初期化↵	→	実行
映像ソース	:	Computer1
入力信号	:	Analog-RGB
周波数	:	H 000.00 kHz
	:	V 000.0 Hz
同期極性	:	H Negative
	:	V Negative
同期モード	:	Separate Sync
入力解像度	:	0000x0000
リフレッシュレート	:	000.0 Hz

3 「はい」を選択して、⏎ ボタンを押します。
ランプ点灯時間が初期化されます。

ランプ点灯時間初期化
ランプ点灯時間を初期化しますか？
はい　いいえ

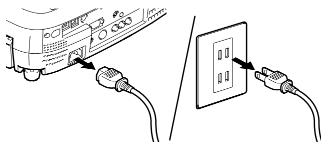


ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

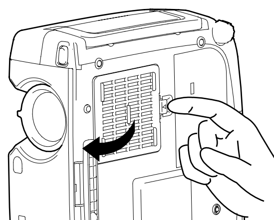
エアーフィルタの交換方法

操作

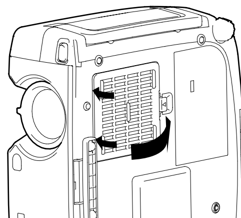
1 本体の電源を切り、クールダウンが終了してから、電源ケーブルを外します。
クールダウンの時間は、約 2 分間です。この時間は、外気温などによって変わります。



2 エアーフィルタのフック部分のくぼみに指をかけて持ち上げ、エアフィルタを外します。
エアーフィルタのごみが中に入らないよう必ずハンドル面を上にして、本機を立てたまま作業してください。



3 新しいエアーフィルタをセットします。
つめの部分を先に入れてから反対側をカチッと音がするまで押し込みます。





使用済みのエアーフィルタは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

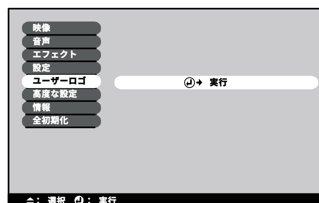
ユーザーロゴの登録

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

操作

1 **ユーザーロゴとして登録したい映像を表示し、本体の[メニュー]ボタンまたはリモコンの [Menu] ボタンを押します。**

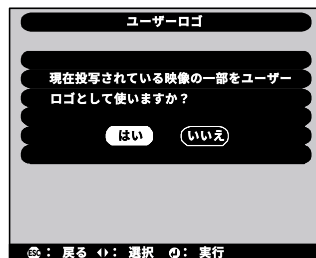
2 **「ユーザーロゴ」メニューを選択し、 ボタンを押します。**



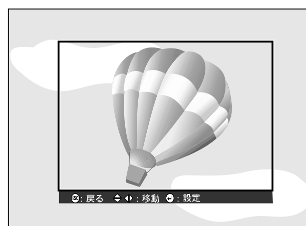


台形補正を行っている場合、「ユーザーロゴ」を選択すると台形補正が解除されます。

3 **サブメニューで「はい」を選択し、 ボタンを押します。**



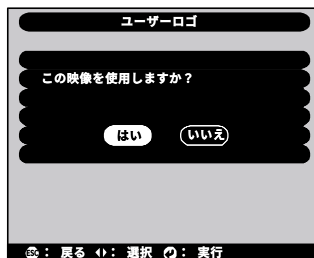
4 **登録する映像と選択枠が表示されるので、使う位置を選択します。**
リモコンの ボタンを傾けて、ユーザーロゴとして使いたい部分を選択したのち、 ボタンを押します。





入力されている映像信号が YCbCr 、YPbPr の場合は、選択枠は中央付近しか移動できません。

5 **使用確認画面で「はい」を選択し、⏎ ボタンを押します。**

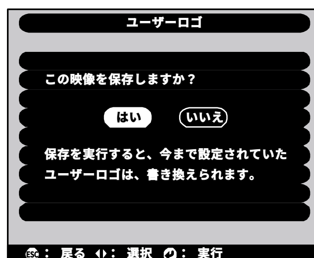


6 **表示倍率設定画面で倍率を選択し、⏎ ボタンを押します。**



7 **保存確認画面で「はい」を選択し、⏎ ボタンを押します。**

映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。





- 保存にはしばらく時間がかかります（約40秒）。保存している間は、プロジェクターや接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。
- 登録できるサイズは 400 × 300 ドットです。
- XGA 以外の解像度のときと、ビデオ映像を投写しているときは、表示サイズが変更されます。
- ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

オプション品一覧

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2001年6月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

ハードトラベルケース ELPKS26
ハンドキャリングするときに使います。

ソフトキャリングケース ELPKS27
ハンドキャリングするときに使います。

交換用ランプ ELPLP15
使用済みランプと交換します。

携帯スクリーン (50型) ELPSC06
持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。

60型スクリーン ELPSC07

80型スクリーン ELPSC08

54型分割マグネットスクリーン ELPSC09
分割マグネット式スクリーンです。

高輝度ウインドウスクリーン
(40型) ELPRS01
(50型) ELPRS02
(60型) ELPRS03
窓や透明板に投写するときに使います。

コンピュータケーブル ELPKC02
(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 1.8m)
本機にコンピュータを接続し、UXGAの解像度で投写したいときに本ケーブルを使います。

コンピュータケーブル ELPKC09
(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m)
コンピュータケーブル ELPKC10
(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m)
製品付属のコンピュータケーブルでは短いときの延長ケーブルです。

コンピュータケーブル ELPKC11
(ミニD-Sub 15pin/5BNC用 1.8m)
本機にワークステーションを接続するときに使います。

コンピュータ延長ケーブル ELPCB05
(ミニD-Sub 15pin オス・メス用5m延長)
コンピュータ延長ケーブル ELPCB10
(ミニD-Sub 15pin オス・メス用10m延長)
添付のコンピュータケーブルを延長するときに使います。

PCセレクタ ELPST01
2台のコンピュータを切り替えて使用するときに使います。(ケーブル2本付)

D端子ケーブル ELPKC22
(ミニD-Sub 15pin/D端子用 3m)
BSデジタル放送チューナと接続するときに使います。

デジタルI/Fケーブル ELPKC20
(DVI-D オス - オス 3m)
デジタルRGB出力のI/Fを持つコンピュータと接続するときに使うDVI▶▶用ケーブルです。

デジタルI/Fケーブル ELPKC21
(DVI-D/DFP20pin用 3m)
デジタルRGB出力のI/Fを持つコンピュータと接続するときに使うDFP▶▶用ケーブルです。

デジタルI/Fケーブル ELPKC25
(DVI-I/ミニD-Sub 15pin用 3m)
アナログRGB出力のコンピュータを本機に2台接続するときに使います。

コンポーネントビデオケーブル ELPKC19
(ミニD-Sub 15pin/RCA×3用 3m)
コンポーネント映像を投写するときに使います。

リモコンレシーバー ELPST04
離れた場所から、確実にリモコン操作したいときに使います。

天吊り金具※ ELPMB07
本機を天井に取り付けるときに使います。

天井プレート※ ELPFC03
パイプ370 (370mm シルバー)※ ELPFP04
パイプ570 (570mm シルバー)※ ELPFP05
パイプ770 (770mm シルバー)※ ELPFP06
高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。

マルチメディアビューワー ELPDC02
ELPDC03
書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。

※天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細に付いては市販の書籍などを利用してください。

5BNC	アナログのビデオ信号を入力するコネクタです。
A/V Mute	一時的に音声と映像を消すことをいいます。本機では本体の [A/V ミュート] ボタンまたは、リモコンの [A/V Mute] ボタンを押すことにより音声と映像を一緒に消すことができます。再び本体の [A/V ミュート] または、リモコンの [A/V Mute] ボタンを押すと解除されます。
DFP	Digital Flat Panel の略で、ビデオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。
DVI	Digital Visual Interface の略で、ビデオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。 DVI はパソコン以外にデジタル家電もターゲットにした規格であり、DFP よりも高解像度の画像が転送でき、デジタル信号の暗号化機能もあります。
Freeze	一時的に映像のみを停止することをいいます。本機では [Freeze] ボタンを押すことにより映像のみを停止することができます。再び [Freeze] ボタンを押すと解除されます。
HDTV	High-Definition Television の略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 ・垂直解像度 720P 、1080I 以上 (P はプログレッシブ走査、I はインタレース走査) ・画面のアスペクト比は 16 対 9 ・ドルビーデジタル音声の受信，再生（あるいは出力）
Remote 端子	オプションのリモコンレシーバーを接続します。
SDTV	Standard Definition Television の略で、HDTV の条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピュータのオペレーティングシステム (OS) やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。
SVGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 800 ドット×縦 600 ドットのものを呼びます。
SXGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,280 ドット×縦 1,024 ドットのものを呼びます。
S ビデオ映像	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y(輝度信号)C(色信号) の 2 つの独立した信号からできている映像をいいます。
VGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 640 ドット×縦 480 ドットのものを呼びます。
XGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,024 ドット×縦 768 ドットのものを呼びます。
USB	Universal Serial Bus の略で、比較的低速な周辺機器とパソコン間を接続するためのインターフェイスです。
UXGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,600 ドット×縦 1,200 ドットのものを呼びます。
YCbCr	現行のテレビ (NTSC 方式) で、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y(輝度信号)CbCr(クロマ (色) 信号) で表します。
YPbPr	ハイビジョンで、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y(輝度信号)PbPr(色差信号) で表します。
アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が 9 対 16 と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は 3 対 4 です。

色温度	光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかった色合いになり、色温度が低いと赤みがかった色合いになります。
インターレース	静止画解像度が同一の画像を放送するのに、必要な映像信号の帯域幅が、順次走査に比べて半分で済むことをいいます。
クールダウン	本体の [電源] ボタンまたは、リモコンの [Power] ボタンを押しランプを消灯させても、ランプの冷却は引き続き行われています。ランプが消灯してから冷却ファンが回転するのと同時に、操作ボタンでの操作ができなくなります。この間をクールダウンと呼びます。クールダウン時間は、約 2 分です。この時間は外気温等によって変わります。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
コンポジット映像	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号 (NTSC 方式) です。 カラーバー信号の中の伝送用信号 Y(輝度信号) とクロマ (色) 信号からできている映像を言います。
コンポーネント映像	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 ハイビジョンにおいて、Y(輝度信号)Pb、Pr(色差信号) の３つの独立した信号からできている映像をいいます。
色差信号 (コンポーネント)	ビデオ機器から赤 - 輝度 (R-Y) 、輝度 (Y) 、青 - 輝度 (B-Y) の 3 つの信号を 3 本のケーブルで送る方式で、コンポジット信号 (赤、緑、青の色信号と、その輝度信号を 1 本のケーブルで送る方式) とくらべて、よりきれいに投写することができます。
ソースプロンプト	入力信号の種類を画面に表示することを示します。
盗難防止用ロック	プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定できます。kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。 七陽商事株式会社　情報機器事業部 〒 103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-55-7(ナナヨービル) Tel:03-3663-7787 Fax:03-3669-2367
同期 (Sync.)	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相 (山のずれ) を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
トラッキング	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数 (山の数) を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために１秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ (Hz) で設定します。

ESC/VP21 コマンド一覧

コマンドリスト

電源 ON コマンドを送信すると、電源が ON になり、プロジェクターがコマンド受付け可能になると'3Ah'(:)を返します。
また、コマンド処理が終了した場合も、':'が返信されます。
':'を待つことで、プロジェクターの Ready/Busy を知ることができます。
異常終了の場合は、エラーメッセージを出力した後に':'を送信します。

項　目		コマンド
電源の ON/OFF	ON	PWR ON
	OFF	PWR OFF
信号切り替え	Computer1(Analog-RGB)	SOURCE 11
	Computer1(Digital-RGB)	SOURCE 12
	Computer1(RGB-Video)	SOURCE 13
	Computer2/Component Video (Analog-RGB)	SOURCE 21
	Computer2/Component Video (RGB-Video)	SOURCE 22
	Computer2/Component Video (YCbCr)	SOURCE 23
	Computer2/Component Video (YPbPr)	SOURCE 24
	Video	SOURCE 41
	S-Video	SOURCE 42
A/V Mute の ON/OFF	ON	MUTE ON
	OFF	MUTE OFF
A/V Mute の切り替え	黒	MSEL 00
	青	MSEL 01
	ユーザーロゴ	MSEL 02

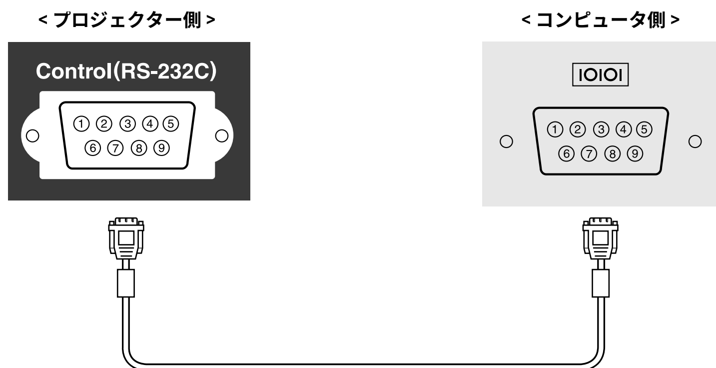
通信プロトコル

- ボーレート基準速度　：9600 bps
- データ長　：8 bits
- パリティ　：なし
- ストップビット　：1 bit
- フロー制御　：Xon/Xoff

ケーブル配線

シリアル接続

- コネクタ形状　　　　　　　：D-sub 9pin（オス）
- プロジェクター入力端子名　：Control(RS-232C)



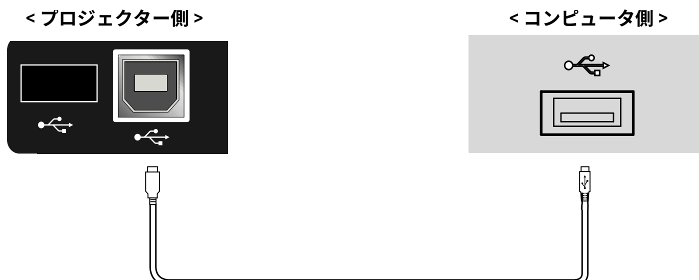
< プロジェクター側 >（PC シリアルケーブル）< コンピュータ側 >

GND	5	———	5	GND
RD	2	◀———	3	TD
TD	3	———▶	2	RD
DTR	4	———▶	6	DSR
DSR	6	◀———	4	DTR

信号名	機　能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ
DSR	データセットレディ
DTR	データターミナルレディ

USB 接続

- コネクタ形状　　　　　　　：USB（B タイプ）



対応解像度一覧

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)	リサイズ表示時 (リサイズ ON) 使用画素数 (ドット)		リアル表示時 (リサイズ OFF) 使用画素数 (ドット)
			ELP-810/800	ELP-600	
PC98		640 × 400	1024 × 640	800 × 500	640 × 400
EGA		640 × 350	1024 × 560	800 × 438	640 × 350
VGA	60	640 × 480	1024 × 768	800 × 600	640 × 480
VGACGA		640 × 400	1024 × 640	800 × 500	640 × 400
VGAEGA		640 × 350	1024 × 560	800 × 438	640 × 350
VGA text		720 × 400	1024 × 568	800 × 444	720 × 400
		720 × 350	1024 × 498	800 × 388	720 × 350
VESA	72/75/85/120,iMac ※3	640 × 480	1024 × 768	800 × 600	640 × 480
SVGA	56/60/72/75/85/120,iMac ※3	800 × 600	1024 × 768	800 × 600	800 × 600
XGA	43i/60/70/75/85/120,iMac ※3	1024 × 768	1024 × 768	800 × 600	1024 × 768
SXGA	70/75/85/100	1152 × 864	1024 × 768	800 × 600	1152 × 864 ※1
SXGA	60/75/85	1280 × 960	1024 × 768	800 × 600	1280 × 960 ※1
SXGA	43i/60/75/85	1280 × 1024	960 × 768	750 × 600	1280 × 1024 ※1
SXGA+	60/75/85	1400 × 1050	1024 × 768	800 × 600	1400 × 1050 ※1
UXGA ※2	48i/60/65/70/75/80/85	1600 × 1200	1024 × 768	-	1600 × 1200 ※1
MAC13 ”		640 × 480	1024 × 768	800 × 600	640 × 480
MAC16 ”		832 × 624	1024 × 768	800 × 600	832 × 624
MAC19 ”		1024 × 768	1024 × 768	800 × 600	1024 × 768
MAC21 ”		1152 × 870	1016 × 768	794 × 600	1152 × 870 ※1
TV(525i)	60	640 × 480	1024 × 768	800 × 600	640 × 480
TV(625i)	50	720 × 540	1024 × 768	800 × 600	720 × 540
SDTV(525p)	60	640 × 480	1024 × 768	800 × 600	640 × 480
HDTV(750p)	60	1280 × 720	1024 × 576	800 × 450	
HDTV (1125i, 1125p)	60	1920 × 1080	1024 × 576	800 × 450	

※1　仮想 (ウィンドウ) 表示

※2　ELP-600 は UXGA には対応していません。
ELP-810/800 では、オプションのコンピュータケーブルを使用した場合にのみ UXGA に対応します。同梱のコンピュータケーブル使用時は対応できません。

☛「付録 オプション品一覧」P.95

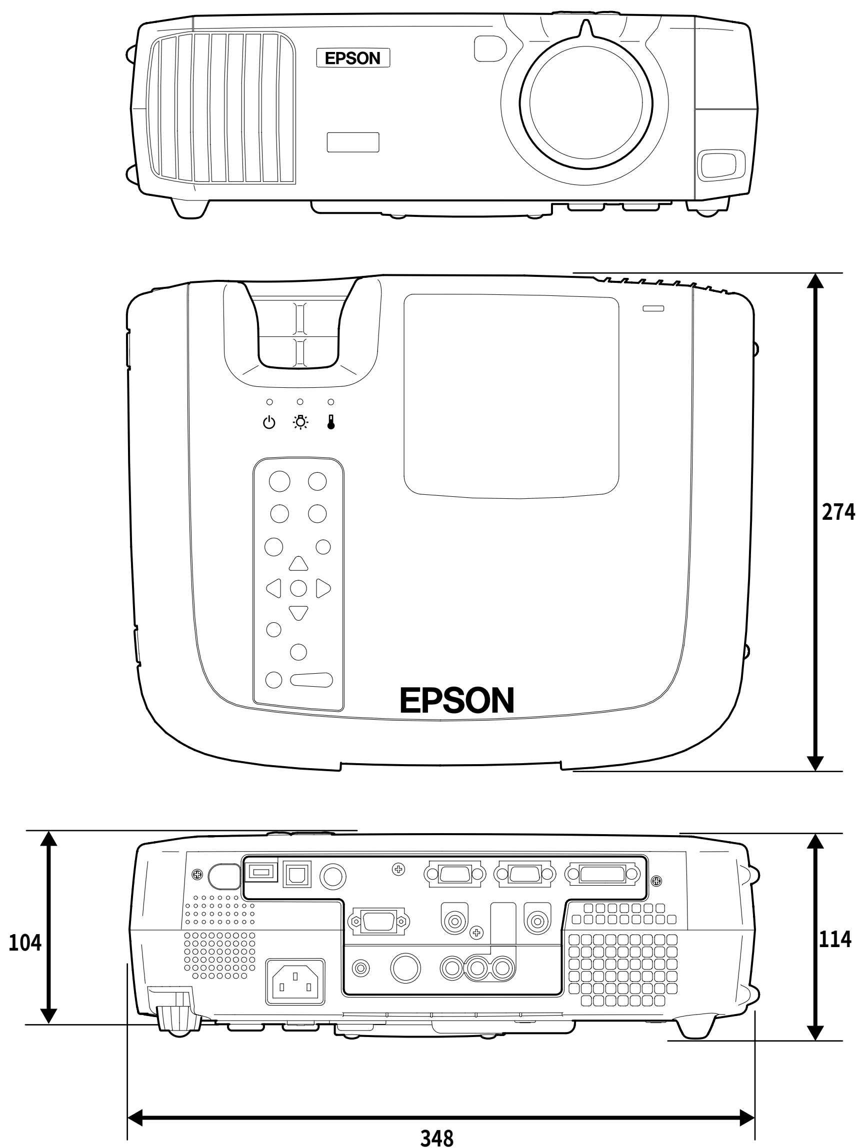
※3　VGA 出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

仕様一覧

商品名	マルチメディアプロジェクター　ELP-810/800/600		
外形寸法	幅 348 ×高さ 104 ×奥行き 274mm(フット含まず)		
パネルサイズ	0.9 型		
表示方式	ポリシリコン TFT アクティブマトリクス		
駆動方式	フルライン 12 相ブロック順次書き込み		
画素数	ELP-810/800　：XGA　786,432 個(横 1024 ×縦 768 ドット)× 3 ELP-600　　　：SVGA 480,000 個(横 800 ×縦 600 ドット)× 3		
フォーカス調整	手動		
ズーム調整	手動(約 1：1.35)		
ランプ(光源)	UHE ランプ　定格 200W　型番：ELPLP15		
音声最大出力	5W モノラル		
スピーカ	1 個		
電源	100-120V/200-240V ± 10%、50/60Hz AC 定格消費電力 280W スタンバイ時 5.5W (100V 時)		
使用温度範囲	＋ 5 ℃～＋ 35 ℃(結露しないこと)		
保存温度範囲	－ 10 ℃～＋ 60 ℃(結露しないこと)		
質量	約 4.2kg		
接続端子	Computer 1 端子：	1 系統	DVI-I
	Computer 2/Component Video 端子：	1 系統	ミニ D-Sub 15pin(メス)
	Audio 1 端子：	1 系統	ステレオミニジャック
	Audio Out 端子：	1 系統	ステレオミニジャック
	Video 端子：	1 系統	RCA ピンジャック
	S-Video 端子：	1 系統	ミニ DIN 4pin
	Audio 2 端子	1 系統	RCA ピンジャック× 2(L,R)
	Mouse 端子：	1 系統	DIN ジャック 9pin
	USB 端子：	2 系統	USB コネクタ (A,B タイプ)
	Control(RS-232C) 端子：	1 系統	D-Sub 9pin(オス)
	Monitor Out 端子：	1 系統	ミニ D-Sub 15pin(メス)
	Remote 端子：	1 系統	ステレオミニジャック

※ USB 端子は、USB 対応機器すべての動作を保証するものではありません。

外形寸法図



単位：mm

索引

ボタン

数字・アルファベット

アイウエオ

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

キ

ク

ケ

コ

サ

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

マ

ミ

メ

ユ

ヨ

ラ

リ

レ

ワ

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルを現地にてお買い求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

漏洩電流自主規制について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会(社団法人日本電子工業振興協会)のパソコン業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

商標について

IBM、DOS/V、PS/2は、International Business Machine Corp.の商標または登録商標です。
Macintoshは、Apple Computer Inc.の登録商標です。
Windows、Windows3.1、Windows95、Windows98、Windows2000は米国マイクロソフト社の商標です。
EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

0570-004141（全国ナビダイヤル）　【受付時間】9:00～17:30　月～金曜日（祝日・弊社指定休日を除く）

＊ナビダイヤルはNTTのサービスです。＊NTT以外の新電電各社（日本高速通信「0070」日本テレコム「0088」など）をご利用なさっている場合、新電電各社で「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。このような場合はご契約の新電電各社へナビダイヤルを使えるようにご依頼ください。＊沖縄県にお住まいの方は、下記の沖縄FCまでお電話ください。＊携帯電話・PHSからはご利用いただけませんので最寄りのフィールドセンターまでお電話ください。

【受付時間】9:00～17:30　月～金曜日（祝日・弊社指定休日を除く）

札幌FC（011）222-7590　仙台FC（022）214-7625　松本FC（0263）54-7302　東京FC（042）354-0750
名古屋FC（052）202-9510　大阪FC（06）6397-0930　福岡FC（092）471-0072　沖縄FC（098）867-5615

●修理品送付・持ち込み・ドア to ドアサービス依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込み頂くか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	ドア toドアサービス受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034　札幌市中央区北4条東1丁目　札幌フコク生命ビル10F　エプソンサービス	同　右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243　松本市神林1563　エプソンサービス	0263-86-9995 ドア toドア専用 受付電話 365日受付可	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012　東京都日野市日野347　エプソンサービス		042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041　福岡市博多区吉塚8-5-75　初光流通センタービル3F　エプソンサービス	同　右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027　那覇市山下町5-21　沖縄通関社ビル2F　エプソンサービス	同　右	098-852-1420

＊「ドア to ドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に伺う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡下さい。

＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承下さい。【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

●プロジェクターインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

0570-00-4110（ナビダイヤル）※【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土曜日10:00～17:00（祝日・弊社指定休日を除く）

※プロジェクターインフォメーションセンターへは携帯電話・PHSからはご利用頂けません。携帯電話・PHSのお客様は、（0263）54-5800にお問い合わせください。

※ナビダイヤルとは、NTTの電話サービスの名称です。この番号は全国一律の通話料金でご利用になれます。
通話料金はダイヤル後、接続前にご案内させていただきます。通話料金のご案内の間は通話料金はかかりません。

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌（011）221-7911　東京（042）585-8500　名古屋（052）202-9532　大阪（06）6397-4359　福岡（092）452-3305

●ショールーム　※詳細はホームページでもご確認できます。

エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル
【開館時間】　9:30～17:30（土日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア秋葉原　〒101-0021　東京都千代田区外神田3-13-7
【開館時間】　10:00～18:00（水曜日、弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047　大阪市中央区淡路町3-6-3　NMプラザ御堂筋
【開館時間】　9:30～17:30（土日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア大阪日本橋　〒556-0005　大阪市浪速区日本橋5-4-20　エスタビル
【開館時間】　10:00～18:00（水曜日、弊社指定休日を除く）

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認下さい。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社　フリーダイヤル0120-251528　でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

2001.8.27



この取扱説明書は100%再生紙を使用しています。



環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

Printed in Japan
402113201
(90017704)
01.12-.6B(C05)